

令和 7 年度

事業報告

京都市ひとり親家庭福祉連合会

一般社団法人京都市ひとり親家庭福祉連合会

【事業概要】

1. ひとり親家庭福祉事業

京都市の母子家庭福祉施策の先進事業として1984(昭和59)年「京都市母子福祉センター米岡荘」の運営管理事業を受託。2004(平成16)年には京都市母子家庭等就業・自立支援センター事業が加わり、2009(平成21)年には現在の北山ふれあいセンターに移転。2012(平成24)年「京都市ひとり親家庭支援センター」に名称変更され、「ゆめあす」の愛称で京都市におけるひとり親家庭支援の中核施設として様々な活動を展開

2. 児童福祉事業

1995(平成7)年、伏見区住吉地域の「京都市住吉児童館」の管理・運営を地域運営委員会から託されて以来、2009(平成21)年、「京都市母子福祉センター(現京都市ひとり親家庭支援センター)」に併設される形で「京都市葵児童館」が新設。その後、伏見区下鳥羽地区の民設民営児童館「下鳥羽児童館」、2021(令和3)年からは指定管理施設の「岩倉南児童館」を加えて、全4館体制となり、ひとり親家庭を含む働く家庭への支援やすべてのこどもの成長と幸せを願って活動

また2010(平成22)年、旧京都市母子福祉センター米岡荘において、乳幼児親子のつどいの広場(京都市子育て支援活動いきいきセンター)「ほっこりはあと出町」の管理運営を開始。ひとり親家庭福祉及び児童福祉の両分野において積極的に活動を展開

【令和7年度 事業活動報告】

ひとり親家庭と児童の2つの福祉活動を軸に誰もが住みやすい社会環境の実現に向けて、差別なく参加できる包摂的な共生社会の実現をめざし、各種活動を展開している

1 法人定例総会の開催

月 日 令和7年5月26日(月)
場 所 京都市ひとり親家庭支援センターゆめあす
出席者 正会員9名、委任状提出7名、議決権なし6名
内 容 令和6年度事業報告並びに決算報告

2 京都市ひとり親家庭福祉大会の開催

目 的 京都市内会員の研修と相互交流を図りひとり親家庭福祉の一層の向上をめざす
月 日 令和7年11月30日(日)
場 所 ハートピア京都
後 援 京都市、京都市社会福祉協議会、京都新聞社会福祉事業団
協 賛 株式会社堀内八郎兵衛
内 容 第一部は、千總様、キャリアグループ様からの寄附受納式を執りおこない、ご臨席の松井孝治京都市長からあたたかいご祝辞をいただきました。母子会員からの体験発表の後、申合せ及び大会決議案を採択。休憩後、京都市葵児童館太鼓クラブ「心葵(ここあ)」による和太鼓演奏を楽しんだ。ひとり親家庭関係者約180名参加

3 全国母子寡婦福祉研修大会の参加

目 的 ひとり親家庭・寡婦の自立と子どもの健全育成、その福祉の向上をめざす

月 日 令和7年11月22日(土)

場 所 鳥取県 米子コンベンションセンター

主 催 全国母子寡婦福祉団体協議会、鳥取県母子寡婦福祉連合会ほか

4 近畿・中部地区 母子寡婦福祉研修大会の参加

目 的 近畿ブロック会員の研修と相互交流を図り母子寡婦福祉の一層の向上をめざす

月 日 令和7年9月14日(日)

場 所 クレオ大阪中央

主 催 全国母子寡婦福祉団体協議会、近畿地区母子寡婦福祉団体ほか

5 各種研修会の参加

(1)近畿ブロック母子部長会議

目 的 母子福祉活動が抱える課題、今後の展望などを話し合い、活動に生かす(年2回開催)

月 日 令和7年7月5日(土)／令和8年1月17日(土)

場 所 大阪府立母子・父子福祉センター

(2)全国母子寡婦指導者研修会及び母子部長研修会

目 的 全国の母子寡婦福祉団体の指導者が団体のあり方や福祉について研鑽を深める

月 日 令和8年3月14日(土)、15日(日)

場 所 品川区総合区民会館

6 定例部会活動

(1)支部長会

各区の支部長が支部の活動報告や地域との連携状況、会員の推移、課題などを話し合う

毎月第2金曜日定例開催

(2)母子部会

母子部長・副部長を中心に会員有志が参加する会議。ひとり親家庭の様々な課題や問題についてのケース報告や交流企画の立案と協議、会員間の交流を目的として開催

毎月第3日曜日定例開催

7 就労・キャリア支援の実施

月 日 毎月1回(日曜日開催)

場 所 京都市ひとり親家庭支援センターゆめあす

対応者 東山恵子氏

国家資格を持つキャリアカウンセラーによる予約制相談会を実施

8 会員交流活動・レクリエーションの実施

(1)イチゴ狩り

月 日 令和7年5月4日(日)

場 所 うつみ農園(山科区)

参 加 17組31名

(2)京友禅Tシャツ染め体験(中京区主催)

月 日 令和7年8月3日(日)

場 所 丸益西村屋(中京区)

参 加 5組10名

(3)タルト菓子をフェルトで作っちゃおう

月 日 令和7年8月21日(日)

場 所 南青少年活動センター

参 加 5組11名

(4)柿狩り(中京区ひとり親家庭福祉会主催)

月 日 令和7年11月9日(日)

場 所 千弥農園(西京区)

参 加 7組

(5)さつまいもを使ったお菓子作り(山科区ひとり親家庭福祉会主催)

月 日 令和7年12月7日(日)

場 所 山科青少年活動センター

参 加 7名

(6)親子で楽しむクリスマス会

月 日 令和7年12月14日(日)

場 所 京都市ひとり親家庭支援センターゆめあす

参 加 14組29名

(7)漢字ミュージアム見学(伏見区ひとり親家庭福祉会主催)

月 日 令和8年2月15日(日)

場 所 漢字ミュージアム

参 加 9組19名

(8)会員懇親会「がんばってる！ひとり親さん全員集合！！」

月 日 令和8年3月1日(日)

場 所 ウイングス京都

参 加 11名

9 ひとり親の親と子の学習会と居場所づくり

(1)学習支援会「ゆう」

月 日 隔週金曜日(のべ32回開催)

場 所 カトリック桂教会(西京区)

参 加 のべ342名(子ども、ボランティアの指導者含む)

(2)プログラミング教室

月 日 令和7年6月～7月(初級編)／7月～8月(中級編)

場 所 京都市ひとり親家庭支援センターゆめあす

参 加 6名／5名

(3)ミシン講習 通園バックづくり

月 日 令和7年6月～7月

場 所 京都市ひとり親家庭支援センターゆめあす

参 加 11名

(4)暑い夏の涼し気アイメイク講習

月 日 令和7年6月28日(土)

場 所 京都市ひとり親家庭支援センターゆめあす

参 加 10名

(5)夏休み学習会「英語であそぼう」(西京区ひとり親家庭福祉会主催)

月 日 令和7年7月27日(日)

場 所 京都市交流促進・まちづくりプラザ(西京区)

参 加 6名

(6)夏休み学習会「ChatGPT を使って英語レッスン」(西京区ひとり親家庭福祉会主催)

月 日 令和7年7月27日(日)

場 所 京都市交流促進・まちづくりプラザ(西京区)

参 加 6名

(7)レンジで簡単！親子でカスタードクリーム作り

月 日 令和7年8月9日、17日、31日

場 所 京都市ひとり親家庭支援センターゆめあす

参 加 12名

(8)夏休み学習会「紙工作でクルクル回るおもちゃづくり」(山科区ひとり親家庭福祉会主催)

月 日 令和7年8月10日(日)

場 所 山科青少年活動センター

参 加 13名

(9)ネイル講座

月 日 令和7年9月21日(日)

場 所 京都市ひとり親家庭支援センターゆめあす

参 加 7名

10 地域団体との協働事業・相互連携事業

(1)北山ふれあいセンターまつり

北山ふれあいセンターを運営する(社福)京都総合福祉協会との実行委員会により北山ふれあいセンター全体で開催。地域住民・各種団体との交流及び事業理解を深める目的で実施

月 日 令和7年11月8日(土)

場 所 北山ふれあいセンター

内 容 駄菓子の販売、理事の手づくり小物などを出店

(2)ひとり親おうえんし隊 月例ミーティング

ひとり親家庭の方がより良く団体を利用できるよう、また各団体の活動がより良いものになるために結成された「ひとり親おうえんし隊」。ひとり親を支援する団体間の連携、定期的な情報交換、制度等の勉強会を行いながらひとり親家庭福祉の底上げをめざしている

開催日 毎月1回(のべ12回開催)

参画団体 (一社)みをつくし

knocks! horikawa 運営委員会

認定 NPO 法人ムラのミライ

NPO 法人まるばひいらぎ

となりの寺子屋あ～ま

京都府社会福祉協議会

京都府ひとり親家庭自立支援センター

11 ご寄付・物品等のご支援

(1)医療法人創健会西村診療所様より「無料人間ドッグ」ご招待

月 日 令和7年4月13日(日)

場 所 西村診療所(ホテルグランヴィア京都3階)

内 容 人間ドッグ「カスタムF(女性用)」コース及びカスタムM(男性用)」コース

招待数 25名

(2)株式会社千總ホールディングス様より京都市への寄贈着物受納式

月 日 令和7年4月14日(月)／令和8年1月28日(水)

場 所 株式会社千總本店

寄贈品 振袖一式2点、訪問着一式3点／振袖袴一式3点、付下一式2点

(3)京都キワニスクラブ様よりご招待

子ども歴史散策「可愛い神使の動物を見つける社寺巡り」

月 日 令和7年5月10日(日)

場 所 弥勒院、法然院、大豊神社などを見学

「俊友会管弦楽団」京都公演

月 日 令和7年9月28日(日)

場 所 京都コンサートホール

「シュペーテ弦楽四重奏団チャリティーコンサート」

月 日 令和8年1月24日(土)

場 所 日本キリスト教団京都御幸町教会

(4)株式会社わかさ生活様よりご寄付

月 日 令和7年6月、11月

寄付品 イベント限定トートバック、サプリメント・ブルーベリー黒酢など

(5)一般社団法人バンクフォースマイルズ様より「コスメバンク」ギフトセットご寄付

月 日 令和7年6月、11月

寄付品 化粧品・ハンドクリーム・シャンプー・トリートメント・入浴剤など

(6)「ひとり親家庭の親子にクリスマスケーキ100個プレゼント」クラウドファンディング

物価高騰で窮屈な毎日に子どもの笑顔を増やしたいという想いを共有する方々から寄付を募るクラウドファンディングを実施

月 日 令和7年9月17日～11月16日

寄付者 75名

募金額 394,000円

(7)株式会社ローソン様より「ファミリーキャンプ2025 in ハピろー！の森 京都」ご招待

月 日 令和7年11月2日(日)

場 所 森林施設「ハピロー！の森 京都」(京都府南丹市)

招待数 12組27名

(8)京都ハンナリーズ様よりホームゲームご招待／「小学生バスケットボール教室」ご招待

月 日 令和7年10月／11月

場 所 かたおかアリーナ京都／佛教大学紫野キャンパス体育館

招待数 19組51名／23組25名

(9)キャリアグループ様よりランドセルご寄付

月 日 令和7年12月1日(日)

場 所 ハートピア京都

寄付数 10個

(10)ノートルダム修道女会様よりご寄付

月 日 令和7年12月11日(木)

贈呈額 150,000円

(11)京都新聞社会福祉事業団様より「オーシャンスマイルこども未来プロジェクト」ご寄付

月 日 令和7年12月25日(木)

内 容 くら寿司お食事券1万円分

寄付数 210組

(12)イオン株式会社様より「幸せの黄色いレシートキャンペーン」ご寄付

月 日 令和8年4月11日(土)

場 所 イオン洛南店

贈呈額 43,900円

その他、「おてらおやつクラブ」様・「本山修験宗聖護院門跡」様・「カトリック高野教会」様より食料品等のご寄付を、「京都中央信用金庫」様・「日産自動車」様・「キャリア総研」様よりフードパントリーへのご寄付を頂戴した

12 ひとり親家庭 食糧・日用品支援

(1)王将フードサービス様ご寄贈「お子様弁当」配付

月 日 令和7年8月／令和8年1月

場 所 ゆめあす、山科区役所、京都市南青少年活動センター、カトリック桂教会

配 付 各30食

(2)ひとり親家庭福祉連合会フードパントリー

政府備蓄米や地域・関連事業所からの提供品及び当会が購入した食料品を合わせて配付

月 日 令和7年11月～3月

場 所 京都市ひとり親家庭支援センターゆめあす

配 付 180組

(3)クラウドファンディング「クリスマスケーキプレゼント」

月 日 令和7年12月14日、20日、21日

場 所 京都市ひとり親家庭支援センターゆめあす

配 付 100組

【令和7年度 指定管理事業・委託事業報告】

1 京都市指定管理施設(京都市指定管理者指定事業)

- (1)京都市ひとり親家庭支援センターの管理・運営(別紙 事業報告・会計決算報告)
 (2)京都市住吉児童館、葵児童館、岩倉南児童館の管理・運営(別紙 事業報告・会計決算報告)

2 京都市受託事業

(1)京都市ひとり親家庭支援センターにおける「日常生活支援事業」

京都市が、ひとり親家庭等の自立促進に必要な技能習得のための通学・就職活動等の事由がある場合や、疾病など生活環境等の激変により日常生活を営むのに支障が生じている場合に「家庭生活支援員」を派遣し、ひとり親家庭の生活の安定を図ることを目的として実施

●令和7年度実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	20	26	28	28	18	33	39	32	26	44	37	55	386
時間	32	44	49	50	41	61	78	64	46	82	66	116	729

(2)着物・スーツ貸出事業

株式会社千總ホールディングス様より京都市へ寄贈された各種祝着(七五三・成人式・結婚式ほか冠婚葬祭等)の貸出し及び、京都南ロータリークラブ様より京都市へ母子家庭用に寄贈されたリクルートスーツの貸出しを実施

●着物貸出件数

種類 年度	留袖	友禅等	振袖・袴	三歳祝着	五歳祝着	七歳祝着	十三詣	合計
令和7 (2025)	1	6	18	2	8	9	2	46

●スーツ貸出し件数

種類 年度	ブラック 7号	ブラック 9号	ブラック 11号	ブラック 13号	グレー 9号	ネイビー 9号	パンプス	バック	合計
令和7 (2025)	2	0	0	3	0	0	6	4	15

3 乳幼児親子のつどいの広場「ほっこりはあと出町」

「つどいの広場」は、地域の子育て支援活動の一環として、主に乳幼児親子が気軽に集まり、交流や子育て情報の交換を行う場を提供する取り組み。様々なイベントや子育てアドバイザーによる子育て相談、出張ひろばなどを開催。昨年11月、寺町今出川へ移転し事業継続中

●来所者数
(のべ人数)

	母親	父親	その他	合計
保護者	1,261	155	93	1,509

	0歳	1歳	2歳	3歳	小学生	その他	合計
子ども	527	543	167	206	30	14	1,487

【令和7年度 その他の活動報告】

1 連合会 会員状況

母子・父子会員数に比べ寡婦会員の減少幅が大きく、正会員である学区福祉会数が減少している。支部毎に定例活動のあるところとないところがある状況を鑑み、地域での活動を活性化するため夏休みイベントを企画するなど取り組みを実施。今後も引き続き重視していく

●会員数

年度	種類	寡婦	母子	父子	合計	学区数
令和7 (2025)		92	168	5	265	21

2 新規会員獲得に向けた取り組み

年会費の振込にゆうちょ銀行のネットバンキング(アプリ)が利用できることを案内し、会費入金の利便性を高める工夫をした。また、ゆめあすイベント開催時に母子会員やひとり親家庭を経験した寡婦との交流機会をつくるなど当事者団体としての存在意義をアピールした。あわせて、食料支援・寄付品配付など会員の有用性をわかりやすく説明し新規会員獲得につなげた

3 広報活動報告

(1)連合会ホームページ更新

各種イベント・セミナーや支援情報の最新内容を掲載し、当事者が必要な情報を探しやすいよう工夫している。他都市の母子寡婦福祉団体から「当連合会ホームページを見た」と活動内容についての問合せも数件あり、情報発信力が高まっている

(2)LINE の活用

会員向けにプッシュ型の情報発信として、連合会イベントに加え、奨学金情報・親子向け無料(安価)イベント・食糧支援情報などを随時発信。忙しいひとり親にも効果的に届けることのできるツールとして活用している

(3)会報「POSITIVE」の発行

母子部会員の交流、情報提供などを目的に会報「POSITIVE」を4月・7月・10月・1月に発行(各1400部)。行政や関係機関などに配付し配架依頼を行った

(4)法人広報誌「花ごよみ」の発行

連合会全体の広報媒体として「花ごよみ」を年1回発行(1,000部)。毎回、京都市長からのご挨拶を冒頭に掲載。各支部を通して会員へ配付するとともに行政や関係機関などに配架依頼を行った

2025年度 京都市ひとり親家庭福祉連合会活動 年間一覧

	期日	事業名	内容	参加
1	毎月第3日曜	ひとり親家庭のためのキャリアコンサルティング	国家資格を持つキャリアコンサルタントが、ひとり親の悩みに親身になって一緒に考える	4名
2	月3回実施	学習会「ゆう」	西京ひとり親家庭福祉会が中心となって継続的におこなう、小学生から高校生までを対象にした学習会	342名
3	月1回実施	ひとり親応援し隊ミーティング（ひとり親支援団体交流会）	京都市にあるひとり親支援をしている団体との交流を深める、情報交換、勉強会	
4	随時	イオン 幸せの黄色レシートキャンペーン 啓発活動	イオンがおこなう地域への社会貢献活動「イオン・デー」に参加。当会への応援を呼びかけるチラシを配布	
5	4月13日(日)	「無料人間ドック」ご招待	医療法人創健会西村診療所からのご厚意により実施。会員の健康管理を促す	25名
6	5月10日(土)	第2回子ども歴史散策「可愛い神使の動物を見つける社寺巡り」ご招待	京都キワニスクラブのご厚意により実施。弥勒院、法然院、大豊神社などを見学	
7	5月4日(日)	イチゴ狩り	京都市内の農家で実施。遠出をしなくても大型連休中の子どもの思い出づくりができるよう企画	31名
8	5月15日(木)	令和6年度決算理事会		
9	5月26日(月)	令和7年度定例総会		
10	5月30日(金)	母子寡婦福祉対策議員連盟懇談会及び加盟団体代表者連絡会議	ひとり親家庭の福祉施策の充実を要望し、全国母子寡婦福祉団体協議会の代表者が各団体と意見交換	
11	6/7、14、21、28、7/5	プログラミング教室（初級編）	ひとり親及び、中学生以上の子を対象とした初心者向けWEBページ作成の基本を情報系の元大学教員が講習	6名
12	6月～	コスメバンク	化粧品・日用品メーカーより再販売の難くなった提供品「コスメ詰合せギフト」を先着順で提供	150名
13	6月	オリジナルトートバックご寄付	わかさ生活のイベント限定トートバッグで制作時に誤植が判明し販売を控えたもの80枚をご寄付	
14	6/27,28,7/4,5,11,12	ミシン講習	子の通園通学に必要な布製品を作成（通園バック、お弁当袋、上履き入れ、巾着袋など）先着順で受付	11名
15	6月28日(土)	暑い夏の涼し気アイメイク	コスメバンクより寄贈のコスメセットを使用したメイク講座。SHIROのアイシャドーで夏向きアイメイクを講習	10名
16	7月5日(土)	近畿ブロック母子部長会議 第1回	近畿ブロック各団体の昨年度の取り組みと今年度の取り組みについて交流し、今後の活動に生かす	
17	7月27日(日)	夏休み学習会「英語であそぼう」	小学生を対象として開催。ゲームや遊びを通して、楽しみながら英語を学ぶ	6名
18	7月27日(日)	夏休み学習会「ChatGPTを使って英語レッスン」	情報系の元大学教員を講師に、ChatGPTを使って個人のレベルに合わせた英語学習の方法を教える	6名
19	7/12、19、26、8/2、9	プログラミング教室（中級編）	ひとり親及び、中学生以上の子を対象とし、WEBページ作成の基本とChatGPTの活用方法を講習	5名

2025年度 京都市ひとり親家庭福祉連合会活動 年間一覧

	期日	事業名	内容	参加
20	8月3日(日)	夏休み学習会「京友禅Tシャツ染め体験」	中京ひとり親家庭福祉会が主催する、夏休みの自由研究にもつかえる京都の伝統工芸の体験イベント	10名
21	8/9,17,31	レンジで簡単！親子でカスタードクリーム作り	電子レンジでできるカスタードクリームを子どもがメインで作り、親はアシスタント。家でも再現できるように講習	12名
22	8月10日(日)	夏休み学習会「紙工作でクルクル回るおもちゃづくり」	山科ひとり親家庭福祉会が主催。1枚の紙を折ったり切ったりして風ぐるまなど動くおもちゃをつくる	13名
23	8月21日(木)	夏休み学習会「タルト菓子をフェルトで作っちゃおう」	親子でとりくむ夏休みの工作にフェルト細工でお花のタルト菓子づくり。講師は会員の子ども（大学生）	11名
24	8月21日(木)	王将フードサービス長期休みの子ども達を応援！「お子様弁当」の無償提供	長期休み中の子ども達を食で応援したい王将フードサービスから、子ども達への「お子様弁当」無償提供	30食
25	8月27日(水)	王将フードサービス長期休みの子ども達を応援！「お子様弁当」の無償提供	長期休み中の子ども達を食で応援したい王将フードサービスから、子ども達への「お子様弁当」無償提供	30食
26	8月29日(金)	王将フードサービス長期休みの子ども達を応援！「お子様弁当」の無償提供	長期休み中の子ども達を食で応援したい王将フードサービスから、子ども達への「お子様弁当」無償提供	30食
27	9月14日(日)	近畿・中部地区母子寡婦福祉研修大会	近畿地区・中部地区のひとり親家庭支援団体がひとり親・寡婦と子どもの福祉の向上を目指す研修大会	
28	9月17日(水)～11月16日(日)	ひとり親家庭の親子にクリスマスケーキ100個プレゼントのクラウドファンディング	物価高で窮屈な毎日に子どもの笑顔を増やしたい想いを共有する市民へクラウドファンディングを実施	支援者 75名
29	9月21日(日)	ネイル講座	コスメバンクより寄贈のコスメセットを使用したメイク講座。気分が上向きになるメイクを講習	7名
30	9月28日(日)	「俊友会管弦楽団 京都公演」ご招待	京都キワニスクラブのご厚意により実施	53名
31	10月25日(土)、26日(日)	京都ハンナリーズホームゲームご招待	エスコートキッズ体験。小川麻斗選手・マスコットキャラクター「はんニヤリン」とコート上で記念撮影	51名
32	11月～	ご寄付（フードパントリー配付用）	わかさ生活より、サプリメント・ブルーベリー黒酢、プロテイン（わかさのたんぱく習慣）を数回に分けてご寄付	200名分
33	11月2日(日)	「ローソン ファミリーキャンプ2025」ご招待	「ハピロー！の森 京都」にて開催の日帰りキャンプ。自然観察や森の探検、クラフト作りを親子で楽しんだ	27名
34	11月8日(土)	北山ふれあいセンターまつり	京都総合福祉協会との共催。北山ふれあいセンターの各事業所と協力し、地域住民との交流を図る	
35	11月9日(日)	柿狩り	中京ひとり親家庭福祉会が中心となって毎年おこなう交流イベント	7組
36	11月22日(土)	全国母子寡婦福祉研修大会	ひとり親家庭・寡婦の自立と子どもの健全育成、福祉の向上を目指し社会から理解と支援を得る為集う	
37	11月30日(日)	京都ハンナリーズ・小川選手「小学生バスケットボール教室」ご招待	ひとり親家庭で育った小川選手が社会貢献活動として行う教室。小学校低学年と高学年に分けて実施	25名
38	11月30日(日)	京都市ひとり親家庭福祉大会	京都市内会員の研修と相互交流を図りひとり親家庭福祉の一層の向上をめざす	178名

2025年度 京都市ひとり親家庭福祉連合会活動 年間一覧

	期日	事業名	内容	参加
39	11月30日(日)	フードパントリー	当会が購入した子ども向け食料品に加え、洗剤やラップなどの日用品と政府備蓄米を組み合わせで配付	30組
40	11月30日(日)	「ランドセル」ご寄付	キャリアグループより新1年生7名分をご寄付	7組
41	12月7日(日)	さつまいもを使ったお菓子作り	山科ひとり親家庭福祉会が中心となって毎年おこなう芋掘りが雨天中になつた為、代替イベント	7名
42	12月11日(木)	ご寄付(現金)	ノートルダム修道女会より	寄付額 15万円
43	12月14日(日)	「親子で楽しむクリスマス会」	パネルシアター、マンドリンの演奏や子どもへのプレゼントなどを実施。本物の演奏やパフォーマンスを楽しんだ	29名
44	12月13日、14日、15日	フードパントリー	当会が購入した食品と政府備蓄米、地域や関連事業所から無償提供の食品を合わせて配付	30組
45	12月14日、20日、21日	ひとり親家庭の親子にクリスマスケーキ100個プレゼント	物価高騰で窮屈な毎日に子どもの笑顔を増やしたいとクラウドファンディングを元に100組のひとり親家庭へ配付	100名
46	1月～	コスメバンク	化粧品・日用品メーカーより再販売の難くなった提供品「コスメ詰合せギフト」を先着順で提供	100名
47	1月7日(水)	王将フードサービス長期休み中の子ども達を応援!「お子様弁当」の無償提供	長期休み中の子ども達を食で応援したい王将フードサービスから、子ども達への「お子様弁当」無償提供	30食
48	1月16日(金)	王将フードサービス長期休み中の子ども達を応援!「お子様弁当」の無償提供	長期休み中の子ども達を食で応援したい王将フードサービスから、子ども達への「お子様弁当」無償提供	30食
49	1月17日(土)	近畿ブロック母子部長会議 第2回	母子福祉活動が抱える課題、今後の展望などを話し合い、活動に生かす	
50	1月17日、18日	フードパントリー	当会が購入した食品と政府備蓄米、地域や関連事業所から無償提供の食品を合わせて配付	60組
51	1月24日(土)	「スーパー弦楽四重奏団チャリティーコンサート」ご招待	京都キワニスクラブのご厚意により実施	30名
52	1月24日～	「京都新聞オーシャン スマイルこども未来プロジェクト」お食事券配付	オーシャン貿易(株) 創業者様からのご厚意をもとに京都新聞より回転寿司チェーン食事券(1万円)の寄付	210組
53	2月15日(日)	「漢字ミュージアム」見学会	常設展示・企画展の見学と有料ワークショップ「808字の木プロジェクト」の体験	19名
54	2月22日(日)	フードパントリー	当会が購入した食品と政府備蓄米、地域や関連事業所から無償提供の食品を合わせて配付	30組
55	3月1日(日)	会員懇親会がんばってる!ひとり親さん全員集合!!	日頃感じているモヤモヤ・イライラ・疑問・不安等言葉にしてひとり親としての経験を年代を超えて交流する懇親会	11名
56	3月8日(日)	フードパントリー	当会が購入した食品と政府備蓄米、地域や関連事業所から無償提供の食品を合わせて配付	30組
57	3月14日、15日	全国母子寡婦指導者研修会及び母子部長研修会	全国の母子寡婦福祉団体の指導者が団体のあり方や福祉について研鑽を深める	

令和 7 年度

事業報告

京都市ひとり親家庭支援センターゆめあす

京都市ひとり親家庭支援センターゆめあす 令和 7 年度(2025 年度)事業報告

令和 7 年度(2025 年度)の総括

令和 7 年度は、令和 2 年からの指定管理者制度の最終年度にあたり、ゆめあすでは、相談やセミナー等を通してお仕事の支援をする就業自立支援事業、体験格差解消や親子・当事者同士の交流を促すファミリーネットワーク事業、相談やセミナー等を通してひとり親家庭の生活がより良くなるように支援をする生活支援講習会事業を中心に、弁護士による無料法律相談や着物の貸し出し等の事業を、各職員が創意工夫しながら行いました。各事業の詳細は各報告をご参照ください。

令和 8 年 4 月より施行される改正民法の前年度にあたり、ご不安な声が多く寄せられ、職員も各種研修に励み、理解と情報収集に努めました。

食料品・光熱費の高騰がひとり親世帯の家計を圧迫した一年となり、ファイナンシャルプランナーによる家計相談が活かされました。また在宅ワークや IT スキルへの需要から、転職や資格取得、副業などによる増収のご相談に対応するために、キャリアコンサルタントを配置しました。

ゆめあすは京都市に在住のひとり親家庭の方や、離婚を検討されている方、ひとりで子どもを育てられ、すでに子どもが成人されている寡婦の方が対象となっています。初めて来られた方が、ひとり親になってから 5 年経つがゆめあすを知らなかったとおっしゃることもあり、京都市内に住む対象者の方すべてに、知っていただくにはまだ道のりが遠い状況です。必要とされている方に届けられるよう、広報にも力を入れていきたいと思います。

令和 8 年度からの指定管理者制度の選定を受け、気持ちを新たに、より充実したセンターになるよう職員一同尽力してまいります。

**就業・自立支援センター事業
令和 7 年度(2025 年度)相談事業報告
(就業相談／一般相談／法律相談)**

1. 2025年度概況

2025年度は、2024年度の急激な物価高騰からは、なだらかになったと言われていますが、賃金が物価高騰に追いつかない状況が続きました。切実な生活困窮の相談も多く寄せられ、運営母体である一般社団法人京都市ひとり親家庭福祉連合会の協力を得て、フードパントリーをはじめ、他 NPO 団体等のこども食堂や食料支援といった社会資源の情報収集・提供、行政や他機関との連携等を通してひとり親家庭の貧困問題に取り組んできました。また、就職や転職、資格取得等を中心に個別に就業支援を展開しました。

2026年 4 月の民法改正の前年度となった2025年度は、共同親権に対する不安の相談もあり、すべてが明らかになっていない状況でしたが、常に新しい情報を集めアップデートを欠かさないようにし、月2回開催している無料弁護士相談に案内しながら、相談者に正確な情報を提供できるよう心がけました。また年 2 回開催していた養育費セミナーを 4 回に増やし、啓発にも取り組みました。

労働市場としては、在宅ワーク及び IT スキルへの需要の高まりに応じ、自立支援教育訓練給付金や高等職業訓練促進給付金等事業を希望するひとり親のうち、パソコンスキル資格取得希望者が多くを占めました。ただ、パソコンスキルに限って言えば、すでに扱えることが多くの会社で標準となっていることから、その資格だけで就職することに困難が生じることもありました。IT 業界は、繁忙期との兼ね合いで育児との両立が難しい業種もあることから、情報提供を重ね慎重にプログラムを策定しました。

2. 相談支援事業実績報告

電話相談は、開館時間中(10 時～18 時、火曜日・祝日以外)受け付けており、匿名でも可能です。対面での面談は予約制ですが、固定の時間設定はありませんので、相談者のご希望にできるだけ沿うよう柔軟に予約を取ることが可能となっています。メール相談は随時受け付けています。

就業相談においては、ハローワークと連携し、個別支援をしています。離婚前から離婚後の生活設計をするのは、生活および精神の安定につながりとても大切なこととなります。マザーズハローワークの協力を得て、ゆめあすにて就業相談と一緒に離婚の相談や、弁護士相談を受け、仕事と離婚とが順調に進捗していった方、ゆめあすにて自立支援プログラムを策定し、京都市の自立支援教育訓練給付金や高等職業訓練促進給付金等事業を利用しながら国家資格を取得し増収や転職を叶えたひとり親の方など、安心して安定した生活が送れるお手伝いをしました。

【就業相談支援実施状況】

A 相談種別・世帯状況別相談件数

就業	母子	寡婦	未婚	既婚	父子	不明	計
電話	428	2	13	50	11	8	512
面接	224	5	4	23	4	5	265
メール	65	2	0	6	0	8	81
計	717	9	17	79	15	21	858

全体相談件数は、858 件となり前年度の 855 件とほぼ横ばい。

相談種別では、電話相談が約 60%(前年度64%から4%減)、対面での面談が 31%(前年度 25%から 6%減)、9%(前年度 11%から 2%増)がメールによる相談の割合となっている。

電話相談件数は 512 件(前年度 545 件から 33 件減)、メール相談件数は 81 件(前年度 96 件から 15 件減)、対面での面接が 265 件(前年度 214 件から 51 件増)であった。

世帯状況別では、母子が 84%(昨年度 74%から 10%増)を占めており、次に既婚者が9% (昨年度 15%から 6%減)となっている。

B 年齢別相談件数

	20未満	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60以上	不明
件数	0	18	20	52	114	176	192	134	54	1	97

45 歳から 49 歳が最多の 192 件、40 歳から 44 歳が 176 件となり、40 代が最も利用が多い年齢層となった。

C 行政区別相談件数

	北	上京	左京	中京	東山	山科	下京
件数	140	35	147	51	2	64	27
	南	右京	西京	伏見	市外	不明	合計
件数	86	99	106	48	12	41	858

左京区が 147 件(前年度184件)と最多、北区が 140 件(前年度 61件)で2倍以上増加。西京区、右京区、南区と続く。最も少ない東山区は 2 件。

D 新規相談経路

	福祉事務所	チラシ・パンフ	ホームページ	他事業	特別相談	講座セミナー	連合会	家族親族
件数	41	2	42	0	1	3	2	1
	知人・友人	ハローワーク	市の他施設	府の他施設	市民しんぶん	他	不明	合計
件数	5	17	8	4	10	0	16	152

ホームページからのアクセス 42 件(昨年度 52 件から 10 件減)及び区役所のはぐくみ室からの紹介 41 件(昨年度 21 件から 20 件増)が多い。昨年度に比べ、市民しんぶんが 21 件から 10 件へ減少した。(新規と確認できた分のみを計上)

E 相談内容別相談件数(一般相談と重複あり)

	就職	転職	資格	キャリア相談	労働問題・仕事の悩み	育児相談	教育相談	住居相談
件数	282	129	297	225	148	328	107	128
	自立支援プログラム	債務・借金問題	生活困窮	ひとり親施策	児童扶養手当	養育費	親子交流	DV
件数	395	69	109	51	37	61	34	30
	離婚	調停	センター問合せ	親族トラブル	心身の不調	未婚	給付金・奨学金	その他
件数	75	27	95	27	217	18	17	1

就業に関する相談内容最多は、『自立支援プログラム』395 件(前年度比 232%)となっており、「自立支援教育訓練給付金」及び「ひとり親家庭高等職業訓練促進資金住宅支援資金貸付」の希望者や相談が増えた影響を受けている。『資格』が297件(前年度比121%)、『就職』が282件(前年度比111%)と続く。育児相談が328件と多いが、仕事を考えるときにひとり親家庭にとっては育児との両立が必須となってくるため、離して考えることが不可能だからである。

【一般相談支援実施状況】

A 相談種別・世帯状況別相談件数

一般相談	母子	寡婦	未婚	既婚	父子	不明	計
電話	497	6	19	143	18	23	706

京都市ひとり親家庭支援センターゆめあす

面接	214	8	4	30	6	3	265
メール	82	1	0	20	0	10	113
計	793	15	23	193	24	36	1084

相談総件数は、令和 6 年度比 104%。

いずれの相談手段においても、母子家庭の利用が多く(73%)、次いで既婚者となっている(18%)。令和 6 年度比母子家庭 115%、既婚者 104%と増加したが、それ以外の世帯では減少している。

電話相談が65%を占め、次いで24%が面談となっている。

B 相談内容別相談件数(就業相談との重複あり)

	離婚	養育費	親子交流	児童扶養手当	子育て	住居	心身不調	DV
件数	184	182	110	53	464	161	264	51
	債務	経済	給付・奨学金	親族の悩み	ひとり親施策	問合せ	その他	
件数	92	128	63	52	40	226	9	

内容別で最も多かったのは、子育てに関連するもので464 件。その内容は、離婚前相談では親権、離婚が子どもに及ぼす精神的影響、引越・転園・転校などによる生活の変化、離婚後の別居親と子どもとの関係、死別による子どもの精神不安定、不登校などの学校関係、発達障害をはじめとした障害、進路と教育費、反抗期を含む親子関係と多岐にわたる。心身不調の訴え・相談も多く、主に精神の不調や疾患に関するもので264 件。養育費(令和6年度比134%、令和5年度比158%)、親子交流(令和6年度比116%、令和5年度比125%)ともに年々増加しており、共同親権導入前の不安感を反映していることがうかがわれる。

【無料法律相談支援実施状況】

離婚・養育費・親権・財産・住宅・慰謝料・親子交流など、ひとり親家庭の抱える法律問題について、家事紛争に詳しい女性弁護士が無料で相談対応を行っています。1 回ひとり 30 分、1 日あたり 4 件の相談に対応しています。原則的に月2回、年間 92 回実施(月によって土曜実施あり)。

A 世帯状況別相談件数

就業	母子	寡婦	未婚	既婚	父子	不明	計
電話	38	1	1	33	0	0	73

B 年齢別相談件数

	20未満	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60以上	不明
件数	0	1	1	8	12	18	12	15	5	0	1

C 行政区別相談件数

	北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	西京	伏見
件数	9	3	19	6	0	7	3	3	9	3	11

D 相談内容別相談件数

	離婚前相談	養育費	法律(経済)	法律(その他)	育児・生活	その他
件数	30	24	17	13	3	0

3. 課題と2026年度に向けて

未解決の課題として、ゆめあすの認知度が十分ではない、アウトリーチの限界があります。新規で来館された死別の方は、他機関から紹介され初めて知ったとのことでした。京都市内の区役所の離婚届けには、ゆめあすの紹介のちらしが入っていますが、死別の方は離婚届けを手にすることはないため、遺族年金を申請する際などに年金窓口でゆめあすのパンフレット等を置く働きかけなど、行政にも協力を仰いでいき、引き続きLINEの活用など広報活動にも力を入れていきます。

2026年4月1日に改正民法の運用が開始されました。相談内容の変化等慎重に、また見落としなく注視していきたいと思ひます。研修等職員の資質向上にも取り組んでまいります。

令和 7 年度(2025 年度) 就職準備セミナー事業報告

【事業目的及び実施状況】

こども家庭庁の「ひとり親家庭就業・自立支援事業実施要綱」に基づき、就職・転職に必要な技術の習得、自己啓発等を行うことを目的とする。就労経験が少ない、離婚後間もなく何から手をつければ良いか悩んでいる、パソコンスキルに不安を抱えている、コミュニケーションや対人スキルに自信がない、生活力の向上や収入アップを望む等、ひとり親家庭の親への就労自立情報の提供及び意識啓発として、専門的知識ある講師による講座を開催。

今年度 12 回のセミナーを実施した。就労と増収に結びつくテーマの他に、初の取組みとして、京都ジョブパークとの共催による JP カレッジ「ストレスとの上手な付き合い方セミナー」を開催した。関心の高いセミナーは、「簿記入門講座」、「医療事務入門講座」、「仕事に役立つ Excel 講座③データベース」で、事務職に繋がる講座であった。

◆申込参加状況・保育状況

	セミナー名	開催日	曜日	時間	場所	申込人数	参加人数	託児申込	託児	保育士
1回	在宅ワークと起業の基本セミナー	4月20日	日	13:30-15:30	ゆめあす	15	11	1	1	1
2回	ストレスとの上手な付き合い方セミナー	8月23日	土	13:30-15:30	ゆめあす	8	6	1	1	1
3回	ひとり親家庭の暮らしとお金のセミナー	9月28日	日	13:30-15:30	ゆめあす	18	13	5	1	1
4回	簿記入門講座	10月5日	日	10:30-16:30	ゆめあす	18	15	1	0	0
5回	日商簿記3級体験講座①	10月12日	日	10:30-16:30	ゆめあす	11	10	2	2	1
6回	日商簿記3級体験講座②	10月19日	日	10:30-16:30	ゆめあす	11	9	2	2	1
7回	事務処理UP↑ポイントセミナー①Word	12月7日	日	10:30-12:30	ゆめあす	14	8	0	0	0
8回	事務処理UP↑ポイントセミナー②Excel	12月7日	日	13:30-16:30	ゆめあす	15	12	0	0	0
9回	医療事務入門講座	1月25日	日	13:30-15:30	ゆめあす	18	13	3	3	1
10回	仕事に役立つExcel講座①IF関数で条件処理	3月21日	土	10:30-12:30	ゆめあす	16	11	0	0	0
11回	仕事に役立つExcel講座②VLOOKUP関数	3月21日	土	13:30-15:30	ゆめあす	16	11	0	0	0
12回	仕事に役立つExcel講座③データベース	3月28日	土	13:30-15:30	ゆめあす	16	15	3	3	1
合 計						176	134	18	13	7

◆参加者居住区

左京区	12
北 区	21
右京区	18
上京区	13
中京区	11
下京区	1
西京区	12
東山区	1
山科区	21
南 区	3
伏見区	21
不明	0
合 計	134

◆参加者年齢

10代	0
20代	6
30代	15
40代	41
50代	56
60歳以上	16
不明	0
合計	134

◆各セミナー内容詳細

第1回 在宅ワークと起業の基本セミナー

ひとり親家庭にとって自営型テレワーク(在宅ワーク)で仕事ができる利点は大きく関心が高い。今年度も実際に仕事を始めるための基礎知識や心構えなどを解説、ゆめあす会場と ZOOM によるオンラインのハイブリット開催とした。東京の講師とゆめあす会場を繋いだ ZOOM によるセミナーだが、問題なくスムーズに進めることができた。

自営型テレワークは個人事業主(請負契約)で、会社員が自宅で仕事をする「在宅勤務」や家内労働法の適用を受ける「家内労働者」とは異なるとの説明後、在宅ワーカーの 1 週間の平均就労日数と時間について具体的な数字(3.7 日/週、4.5 時間/日)・平均月収(60,201 円)を示された。始めるにあたっての心得(自己責任・納期厳守・自身のキャパを知る等)から、企業が在宅ワーカーに求めるもの(成果物の内容・価格・過去の実績・情報セキュリティの確かさ等)や、PC 等の機器・名刺など必要な物、IT スキル・ビジネスマナー・コミュニケーションなど必要なスキルについて説明。初心者向けのデータ入力から上級者向けの Web 制作やシステム開発など、自身のスキルに合わせた仕事内容の選択や、クラウドソーシング・仲介事業者・求人媒体・知人の紹介等から信頼できる事業者を選択するなど、自身に合った適切な仕事の探し方を知ることができる内容であった。また、起業についての心構え、開業届と確定申告についての説明や開業届を出すメリットと女性起業家のロールモデルの紹介があった。講義後会場では質問用紙、オンラインではチャットを利用して、講師と直接質疑応答する時間を設けた。

第2回 ストレスとの上手な付き合い方セミナー

今年度初めての取組みとして、京都ジョブパークとの共催による JP カレッジ「ストレスとの上手な付き合い方セミナー」を開催。事前打ち合わせにて、チラシ作成・印刷については JP カレッジが担当、LINE を利用した広報や関係箇所へのチラシ配布等広報、申込受付と

会場準備はゆめあすが担当し開催した。

仕事、家事、育児と日常的にストレスの多いひとり親にとって、自分のストレスとどのように向き合っていけば良いのか、どう捉えればストレスが軽減されるのか等を学んだ。「ストレスが多いからといってストレスが大きいわけではなく、跳ね返せる力を持つこと(ストレス耐性を高める)が大切で、耐性を高めるためにはストレスコーピング(発生を抑える、低減するための行動)を行い、ストレッサーを取り除く、気持ちを切り替えるなど、柔軟に対処していくことが重要とのアドバイスを受けた。また、エゴグラムによる性格診断も行った。自分の傾向を知るとともに、リフレーミング(物事の枠組みを外して違う枠組みで見る)を行い活用することで、前向きに捉えることが出来るようになると、参加者からは「今後のストレス軽減に役立つ」との声が多くあがった。ストレスに対する考え方や手法を学ぶことで、受講前と受講後ではストレスの受け止め方に対する変化がみられた。

第3回 ひとり親家庭のくらしとお金のセミナー

ゆめあす会場とオンラインのハイブリットで開催し、ひとり親家庭の支援制度等について6項目に分けて情報提供とアドバイスを行った。

① 教育資金に関する制度 ② 児童扶養手当について ③ 子どもの成長軸と親の収入軸 ④ 子どもの教育資金をどうするか ⑤ 将来のことを考える ⑥ ファイナンシャルプランナーが質問に答える

児童扶養手当を自分の収入から算出してみることで、今後の働き方について考えることが大切であるとアドバイスを受けた。また、手当がいつなくなるのかを意識して、学費の準備をしておくことが重要であると説明があった。現在の家計を把握し見直しを行うことで、10年後20年後の「なりたい私」の実現に向けた実践が必要とのアドバイスがあった。講義後には会場とオンライン参加者からの質疑応答の時間を設けた。

参加者の年齢は30代から50代で、子の年齢は未就学児から高校生までと幅広く、多くは今後の教育費や老後に不安を抱えていたが、今回のセミナーに参加し「家計を見直すことで不安の解消に繋がり、ライフプランも更新が必要と認識できた。」と好評であった。ひとり親の経済的な問題解決の一助となるよう、今後も開催必須のセミナー。

第4回 簿記入門講座

テキスト:「合格テキスト日商簿記3級」

簿記の知識がない方向けに、初心者講座として開催。学びたいという気持ちを大切に、一般企業における日常業務としての実践的な簿記の知識も取り入れ、簿記の基礎、期中取引、決算、株式会社会計、証憑と伝票についてテキストに沿って学んだ。

財政状態が明らかになる貸借対照表と、経営成績を示す損益計算書についての説明を受けた後に、簿記の基本概念である5要素(資産・負債・純資産・収益・費用)、仕訳と勘定科目の役割、損益計算書・貸借対照表の作成などを行った。5時間での履修のため、初心

者には難しい点もあったが熱心に取り組んでいた。日商簿記 3 級体験講座への継続受講者は 15 名中 8 名あった。

第5回・第6回 日商簿記3級体験講座(全2回連続講座)

テキスト:「合格テキスト日商簿記3級」・日商簿記3級サンプル問題(プリント)

対象は、ゆめあすの簿記入門講座修了者または簿記の知識のある方。

事務職の就職に役立てるため、簿記3級に合格できる力を身につける準備講座として位置づけ開催。独学で合格を目指すためのポイントを学ぶ。基礎である記帳や仕訳の日常の手続きから、商品売買や決算手続きに至るまで、テキストに沿った説明と練習問題を2回に分けて行った。ネット試験対策として、TAC 出版の WEB サイトを利用し模擬試験を体験(操作体験)した。

受講内容に関するアンケートでは、7 割以上の受講者が「とてもよかった」「よかった」と回答、受講者の半数が日商簿記 3 級の受験を希望した。

第7回・第8回 事務処理 UP↑ポイントセミナー ①Word ②Excel

Word・Excel 共に就業支援パソコン初級講座修了者または同レベルの方を対象に、より実践で役立つ内容の講座として開催し、受講者のスキルアップを目指す。

① Word

日商 PC 検定3級の内容に沿って、企業実務における文章作成など、Word を活用し正しいビジネス文書の作成や取扱いができるかどうかを問うとともに、IT の利活用に資する知識・スキルを問う内容。自己の業務に活用し、業務の効率化を図る。

日商 PC 検定(文書作成)の概要説明後、3 級試験で必要な実技科目と知識科目を練習問題に沿って学んだ。実技科目では、ビジネス文書のひな形を理解し、これを用いて定型的な文書を作成。データベースから指示に適合する文書を検索し新たなビジネス文書を作成した。知識科目では、文書管理(ファイリング・共有化等)についての理解や、日本語力(文法・表現法・敬語・慣用句等)、ライティング技術に関する文章表現や文章構成の基本を学んだ。Word のスキルアップに繋がる講座として大変好評で、検定試験の受験希望者も多かった。

② Excel

日商 PC 検定3級の内容に沿って、企業実務における表計算など、Excel を活用した表・グラフの作成、業務データの処理を行い、的確なデータ分析や効果的な資料の作成等ができるかどうかを問うとともに、IT の利活用に資する知識・スキルを問う内容。また、自己の業務に活用する事が出来る内容。

日商 PC 検定(データ活用)の概要説明後、3 級試験で必要な実技科目と知識科目を練習問題に沿って学んだ。Excel を使用し業務データを一覧表にまとめるとともに、指示に従い集計・分類・並べ替え、計算を行った。また、指示に応じた適切で正確なグラフ作成や

作成したデータベースにファイル名をつけ、保存と整理分類の仕方を学んだ。知識科目では、企業実務で必要とされる取引の仕組み(見積・受発注・納品・請求・契約等)と業務データの流れの理解や、電子商取引の現状と形態、ビジネスデータの取扱い(売上管理・利益分析・生産管理・顧客管理等)について学んだ。検定の出題範囲についても具体的な事例(データを入力→集計する→グラフを作成できるか、売掛金・買掛金などの会計用語や商取引の基本 BtoB、BtoC など取引に関する用語理解ができているかなど)を挙げて説明された。

第9回 医療事務入門セミナー

医療事務の具体的な業務内容や資格について知ること、就労への一歩を踏み出し、仕事と子育ての両立を目指す。就転職のために役立つ情報と知識を得る。

1.医療保険のしくみ、2.医療事務の仕事(①受付②料金計算③会計④診療報酬請求⑤各診療受付⑥看護補助⑦病棟クラーク⑧診療情報管理⑨その他(SPD・予約センター・医師事務作業補助など)、4.医薬分業(院外処方)、5.算定ミニワーク(診療報酬明細書・調剤報酬明細書)、

6.知識の習得について(医療事務講座・調剤薬局事務講座)説明があった。また、診療録と保健診療明細書を用いて診療報酬明細を算定、処方箋と保険調剤明細書を用いて調剤報酬明細を算定するミニワークを行った。就職活動の際の留意点として、病院・クリニック・保険薬局の就業条件の違いなども聞くことができ、自分に合った就労先選択に役立つ内容であった。最後に、資格講座の説明(資格なしでも就労は可能だが有資格の方が有利)があり、取得を希望する参加者が多かった(アンケートより)。資格取得に関する質疑応答にも対応した。

第10回・第11回・第12回 仕事に役立つ Excel 講座

ゆめあすの就業支援ワード・エクセル初級講座修了者と同レベルの方を対象に、Excel 関数についてのスキルアップを行い、就職やキャリアアップ、仕事の効率化に活かす。

① IF 関数

IF 関数の基本式を理解し複数条件を処理できるようテキストに沿って学んだ。今年度のゆめあすパソコン初級講座修了者 6 名を含む 11 名が受講した。計算結果の条件付けや進捗管理に使用できるなど具体的な使用方法を学び条件処理についての理解を深めた。データの分析や判断を効率的に行うことで複数の条件指定や条件に応じて処理を分けることができるため「今回学んだことがすぐに仕事に活かせるので良かった」との声が多かった。

② VLOOKUP 関数を使って条件処理

検索したデータに該当した行の指定列からデータを取り出す VLOOKUP 関数について

学ぶ。IF 関数と同じく今年度のゆめあすパソコン初級講座修了者 6 名を含む 11 名が受講した。関数の書式(完全一致・近似値)や入力の方法など基本説明の後、例題にて入力を行い、VLOOKUP 関数についての理解を深めた。実務で最も使用頻度が高い関数であるといわれているため受講者の関心も高く講師への質問も多かった。参加希望者が多い講座のため次年度も継続予定。

③ データベース

練習用の会員名簿からフィルター機能を使ったデータの絞り込みや、売上表を使った並び替え・抽出・集計を行いデータベースの扱いに関して学んだ。集計項目ごとに並び替えておく必要があることや、優先順で並び替えるなどのポイント説明を受け「自主学习で行き詰まりがちだった箇所がよく理解できた」との声があった。

◆今後の課題と改善点

今年度の各種セミナーは概ね円滑に実施され、参加者からも高い評価が得られた。しかし、今後の事業運営に向けていくつかの課題も見受けられた。参加者の年齢層が 30～50 代と比較的高く、特に事務職を希望する方が多い一方で、PC スキルや簿記知識など基礎的スキルとの間にミスマッチが見受けられるケースなど実際の就労に結びつかない側面もあった。また、多くの講座が単発で完結しており、受講後の行動につながる継続支援が十分とはいえない。資格取得や就労に結びつけるためには、フォローアップ相談やステップアップ講座の設定が有効であると考ええる。以上を踏まえ、次年度は参加者のスキル状況に応じた講座の計画、オンライン対応の充実、フォローアップ体制の整備などより効果的な支援事業の実施を目指す。

令和 7 年度(2025 年度)パソコン講習会事業報告

【事業目的及び実施状況】

就職活動において求められるパソコンスキル。仕事に使える技術を習得することで、職業選択の幅を広げ、職務能力の向上を目的とする。転職や就労中のステップアップ、資格取得等に役立て、収入アップを図り生活の向上をめざす。スキルレベルに応じて「はじめてパソコン講座(基礎講座)」「就業支援ワード・エクセル初級講座」の2つの講座をセットにして、トータル27時間の講座を年3回開催。参加しやすいよう、毎土曜日2回と毎日曜日1回の開催とした。「就業支援ワード・エクセル初級講座」修了者には、京都市から修了証書を授与している。

はじめてパソコン講座(基礎講座) 3時間×2回=6時間

対 象:パソコン操作が初めての方

講座内容:キーボード操作・タッチタイピング・フォルダとファイル操作・インターネット・メール操作

受講料:無料(テキスト代500円)

ワード・エクセル初級講座(基本操作の理解を深める) 3時間×7回=21時間

対 象:「はじめてパソコン講座」修了者または、同レベルの方

講座内容:Word・Excelの初級(ファイル操作・ビジネス文書作成・表の挿入編集・画像や図形の活用・印刷・関数の利用・グラフの作成・データベース機能)

受講料:無料(「Office2019」テキスト代1,000円)

◆年間講座実施状況詳細

「はじめてパソコン講座」

年間参加延べ人数 41 名となった。今までパソコンを学ぶ機会のなかった受講者も、操作していくうちに徐々にパソコンに対する不安が解消され積極的な質問が増えた。基本的なパソコンの操作やインターネット・メールを安全に利用する知識を得て問題が解消できるようになると、自信をもって取り組む姿が見られた。ほぼ全員が初級講座の継続受講を希望し、意欲をもって取り組んでいた。

「ワード・エクセル初級講座」

年間参加延べ人数 192 名、年間修了証書授与者は 30 名となった。Word・Excelの基本操作を習得し、簡単な文書や表の作成を学んだ。初回は操作に戸惑う受講者もあったが、回を重ねるごとに自信をもって取り組んでいた。「職場での文書作成やチラシ作成ができるようになった」と実生活に直結する成果も報告された。子の病気などでやむなく欠席となった受講者も

京都市ひとり親家庭支援センターゆめあす

あったが、次回に向けて自主学習を促すことで最後まで学習を継続することができた。講座終了後のアンケートでは、満足度が高く「今後も継続して学びたい」「今回学んだことを仕事で活用したい」との声が多く寄せられたため、学びの継続支援としてフォローアップ講座として 12 月の word・Excel ポイントアップセミナー及び 2026 年 3 月の Excel の 3 講座を案内。
はじめてパソコン講座(2回連続講座)

	第1回		第2回		第3回		合計
	5/11	5/18	8/30	9/6	1/17	1/24	
定 員	15	15	15	15	15	15	
申込人数	8	8	14	14	10	10	64
キャンセル人数	1		4		2		7
定員超落選人数	0		0		0		0
参加人数	7	7	6	7	7	7	41
欠席人数	0	0	4	3	1	1	9
託児人数	0	0	3	2	2	2	9
保育士	0	0	2	2	1	1	6

パソコン初級講座(7回連続講座)

	第1回							第2回							第3回							合計
	5/25	6/1	6/8	6/15	6/22	6/29	7/6	9/13	9/20	9/27	10/4	10/11	10/18	10/25	1/31	2/7	2/14	2/21	2/28	3/7	3/14	
定 員	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	
申込人数	9	9	9	9	9	9	9	20	20	20	20	20	20	20	18	18	18	18	18	18	18	329
キャンセル人数				0							6						3					9
定員超落選人数				0							0						0					0
参加人数	8	7	8	8	9	6	8	10	9	10	10	7	9	7	13	10	12	11	8	11	11	192
欠席人数	1	2	1	1	0	3	1	4	5	4	4	7	5	7	2	5	3	4	7	4	4	74
修了証書授与者数				8							11						11					30
託児人数	0	1	1	1	1	0	1	3	2	2	3	2	4	2	2	2	2	2	2	2	2	37
保育士	0	1	1	1	1	0	1	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	26

京都市ひとり親家庭支援センターゆめあす

年齢別参加人数

年齢	第1回			第2回			第3回			年間 総合計
	はじめて PC	初級	合 計	はじめて PC	初級	合 計	はじめて PC	初級	合 計	
20歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20代	0	0	0	4	4	8	0	0	0	8
30代	0	1	1	0	1	1	1	2	3	5
40代	3	4	7	3	5	8	3	7	10	25
50代	4	4	8	3	4	7	3	5	8	23
60歳以上	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2
合 計	7	9	16	10	14	24	8	15	23	63

居住区別参加者人数

居住区	第1回			第2回			第3回			年間 総合計
	はじめて PC	初級	合 計	はじめて PC	初級	合 計	はじめて PC	初級	合 計	
北 区	0	0	0	3	4	7	1	1	2	9
上京区	1	1	2	1	1	2	1	2	3	7
左京区	1	2	3	1	1	2	3	4	7	12
中京区	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
東山区	0	0	0	1	1	2	0	0	0	2
山科区	1	1	2	1	3	4	0	0	0	6
下京区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南 区	0	0	0	1	1	2	0	0	0	2
右京区	3	4	7	1	1	2	0	3	3	12
西京区	1	1	2	0	1	1	1	1	2	5
伏見区	0	0	0	1	1	2	2	3	5	7
合 計	7	9	16	10	14	24	8	15	23	63

京都市ひとり親家庭支援センターゆめあす

就労状況

就労状況	第1回			第2回			第3回			年間 総合計
	はじめて PC	初級	合 計	はじめて PC	初級	合 計	はじめて PC	初級	合 計	
在職中	4	4	8	8	10	18	4	8	12	38
求職中	1	3	4	0	0	0	2	4	6	10
休職中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雇用保険受給中	1	1	2	0	1	1	1	1	2	5
生活保護受給中	1	1	2	2	3	5	0	0	0	7
年金受給中	0	0	0	0	0	0	1	2	3	3
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	7	9	16	10	14	24	8	15	23	63

就業形態

就業形態	第1回			第2回			第3回			年間 総合計
	はじめて PC	初級	合 計	はじめて PC	初級	合 計	はじめて PC	初級	合 計	
正社員	2	2	4	2	3	5	1	3	4	13
パートタイム	2	3	5	5	5	10	3	4	7	22
派遣社員	0	0	0	1	2	3	0	0	0	3
契約社員	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
自営業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	4	7	2	4	6	4	7	11	24
合 計	7	9	16	10	14	24	8	15	23	63

・今後の課題と改善点

講義スピードへの対応、キャンセル発生への対応、修了率の向上、自主学習環境の強化など、今後も継続してフォローを行うことが求められる。はじめてパソコン講座では、補助資料の充実を図ることや、キャンセル対策としての事前フォローでは、受講前のリマインド連絡を継続、キャンセル理由の把握による改善策を検討したい。欠席者へのフォローアップ強化としては、次回参加に向けた学習支援を継続して実施。学びの継続支援を体系化するため、ポイントアップ講座などのフォローアップ講座を定期化し、修了後のスキル定着を促進する。また、受講者の目的に応じた支援の明確化として、就職・転職希望者には職業訓練情報の提供、在職者には業務活用例の提示など、目的別の支援を行う。受講者が学んだ内容を生活や就労に活かせるよう、継続的な学習機会と個別支援の充実が求められる。教材改善やサポート体制の強化を図り、より参加や継続がしやすい効果的な講座の開催を目指す。

令和年 7 度(2025 年度) mama*papa*cafe 事業報告

【事業目的及び実施状況】

mama*cafe(ママカフェ)は、子育て中のひとり親の母親を中心に孤立しがちなシングルマザー同士の交流及び情報収集の機会を提供することを目的として、また、ひとり親家庭の就労支援の一環として平成 21 年(2009 年)より実施している。2022 年度から父子家庭の父親を対象とした papa*cafe(パパカフェ)も実施。子育て中のひとり親家庭の親が子ども連れで、他の当事者と語り合い交流することで、悩みを共有し孤立を防ぐことも目標としている。

◆今年度の傾向と分析

今年度の延べ参加者人数は、大人 94 名(母親 91 名、父親 3 名)、子ども 22 名、合計 116 名(昨年度比大人 34 名の増加、子ども 4 名の増加)となった。今回初めての取組みとして、ゆめあすとサテライト会場 2 か所を繋いで開催した 4 月の「奨学金セミナー」や、7 月の夏休み企画「思春期の子どもとのつきあい方」を開催したことにより参加人数増加に繋がった。また、例年平日開催のため参加人数に変動があるが、今年度は平均各回 9 名程度の参加を維持していた。

申込・参加人数

人 数	4月	5月	6月	7月-1	7月-2	9月	10月	11月	2月	3月	合計
申込大人(父)	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	4
申込大人(母)	38	8	14	11	19	3	7	10	0	12	122
申込子ども	7	3	1	6	3	2	1	2	3	1	29
参加大人(父)	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	3
参加大人(母)	27	6	9	10	12	3	6	7	0	11	91
参加子ども	6	1	0	8	2	1	1	0	2	1	22

参加者年齢

年 齢	4月	5月	6月	7月-1	7月-2	9月	10月	11月	2月	3月	合計
20才未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30代	0	0	2	4	0	1	1	1	1	4	14
40代	10	2	3	4	9	2	2	3	1	5	41
50代	17	4	4	2	4	0	2	2	0	1	36
60歳以上	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	3
合 計	27	6	9	10	13	3	6	7	2	11	94

京都市ひとり親家庭支援センターゆめあす

参加者居住区

居住区	4月	5月	6月	7月-1	7月-2	9月	10月	11月	2月	3月	合計
北 区	3	0	0	0	1	0	0	0	1	0	5
上京区	3	1	0	1	0	0	0	0	0	2	7
左京区	4	2	5	1	1	0	2	2	0	3	20
中京区	0	1	1	0	3	1	0	1	0	0	7
東山区	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
山科区	2	1	1	1	1	0	0	0	0	2	8
下京区	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3
南 区	2	0	0	1	1	0	0	0	1	1	6
右京区	4	0	1	2	1	2	1	3	0	2	16
西京区	2	1	0	2	1	0	1	0	0	0	7
伏見区	6	0	0	1	2	0	2	1	0	1	13
秘 匿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	27	6	9	10	13	3	6	7	2	11	94

開催日	テーマ	資料等
4月12日	奨学金のお話	ゆめあすとサテライト会場2か所を繋ぎ開催 「奨学金の基本」(髙みらびか) サテライト会場:Knocks ! horikawa@上京区 ハビネス@南区
5月14日	スクールソーシャルワーカーによる 不登校のお話	PPTにて学校教育現場の現状説明と不登校に対する理解を深めた その後に親同士が話し合える安心安全な場を提供し情報を共有
6月11日	くらしのアロマ	「くらしのアロマ」(Aama.project実行委員会) アロマ化粧水・アロマお掃除スプレー作成後に各1本配布
7月6日	聞いてみよう！ 先輩シングルママのお話	配布資料特になし
7月20日	〈夏休み企画〉 思春期の子どもとのつきあい方	「大人も子どもも楽になる思春期の子どもとの付き合い方」 (認定NPO法人ムラのミライ)
9月10日	親子の食育	「親子の食育」(京都府栄養士会)
10月9日	セルフタッチケア	「タッチケアの効果」(NPO法人タッチケア支援センター)
11月12日	ペーパークラフト「ラッピング」	クリスマスラッピング用包装用品(箱・包装紙・リボン等)配布
2月8日	パパカフェ	「ローズマリーのフォカッチャ」レシピ(講師オリジナル資料)
3月11日	カラーセラピー	「パーソナリティ・ストーリー・ワーク」用紙配布(TCカラーセラピー)

令和 7 年度(2025 年度) 生活支援講習会等事業報告

【事業目的及び実施状況】

本事業は法律や社会の仕組みへの理解を深め、生活の向上ための知識や情報をえる、親と子どもの心身の健康を図ることにより、ひとり親家庭等の地域での生活を総合的に支援することを目的としています。

各講座ではテーマ毎に専門的知識を有する講師を招き、具体的な事例に沿って参加者の理解が深まるよう工夫しています。

■年間イベント実施状況(令和 7 年4月～令和 8 年3月)

	事業名	開催日	申込数	参加数	場所	参加費
第1回	京都の伝統工芸にチャレンジ	5月17日(土)	70名	40名	京都伝統産業ミュージアム	無料
第2回	ゆめあす養育費セミナー「どう変わる？改正民法～養育費・親権・親子交流～」	6月13日(金)	14名	11名	ウイングス京都	無料
第3回	ゆめあす養育費セミナー「どう変わる？改正民法～養育費・親権・親子交流～」	7月3日(木)	11名	11名	ゆめあす	無料
第4回	助産師さんにきく お母さんのための性教育講座	8月24日(日)	15名	16名	ゆめあす	無料
第5回	助産師さんにきく お父さんのための性教育講座	8月24日(日)	3名	2名	ゆめあす	無料
第6回	がんばりすぎないエクササイズ KaQiLa(カキラ)体験会	9月21日(日)	26名	12名	ゆめあす	無料
第7回	がんばりすぎないエクササイズ KaQiLa(カキラ)体験会	9月21日(日)		10名	ゆめあす	無料
第8回	ゆめあす養育費セミナー「改正民法で何が変わるの？」	2月22日(日)	12名	15名	ゆめあす	無料
第9回	ゆめあす養育費セミナー「改正民法で何が変わるの？」	3月19日(木)	9名	14名	ウイングス京都	無料

人数 計 160名 131名

■実施内容詳細

第1回 京都の伝統工芸にチャレンジ

京都伝統産業ミュージアムの見学と、京友禅の手描きハンカチを親子で一緒につくる企画。当日は、京友禅職人の指導で、図案がプリントされた43 ㍻角のハンカチに筆で好きな色を塗る体験をした。子どもの年齢が5歳～19 歳までと幅広く、子ども2人連れ・3人連れの参加もあった。染色作業後のハンカチはドライヤーとアイロンで乾かし、そのまま持ち帰ってもらった。

その後、各自で自由に展示場を見学いただき順次解散とした。



第2回 養育費セミナー「どう変わる？改正民法～養育費・親権・親子交流～」

離婚後共同親権などを含む民法の改正内容が知られていない現状から、今年度は養育費セミナーを4回企画。第1回目は、就労などで昼間に時間がとりにくい人でも参加しやすいように平日の夜間に開催した。交通の便が良い「ウイングス京都」を会場とした。セミナー後の個別相談枠を通常通りの4枠に設定するため、セミナー講師とは別にもう1人の女性弁護士派遣を京都弁護士会へ依頼。セミナーは、改正民法のメリット・デメリットを改正条項にそって解説。あわせて申込み時に事前収集した質問への回答もあった。その場での質疑応答もあり、6 人の参加者から質問があった。個別の法律相談は4人。弁護士2人が別室で2枠ずつ担当。定員近くの応募があり、夜間開催のニーズを再確認した。特に個別の法律相談の希望が多かった。

第3回 養育費セミナー「どう変わる？改正民法～養育費・親権・親子交流～」

離婚後共同親権などを含む改正民法について解説する養育費セミナーの2回目。今回は、対象者を、育児中など午前中に時間がとりやすい人を対象として開催した。講師は京都弁護士会に依頼し、前回と同じ女性弁護士。セミナー後には一人で個別相談4枠を対応。

セミナー内容は、改正民法のメリット・デメリットを改正条項にそって解説。また、半数ほどが個別相談の対象者でないことをふまえ、その場で質疑応答を丁寧に対応。「そもそも何故、共同親権が法律で決まったのか」「法定養育費は未婚で認知されている子には適用しないのか」などの質問があった。個別の法律相談は4人。総じて、解決に困難さを弁護士が感じるケースだった。



第4回 助産師さんにきく お母さんのための性教育講座



親向けの包括的性教育講座を、講師派遣の実績のある京都府助産師会に依頼し実施。家庭で子どもと向き合う時の対応に参考になるよう、小さな子どもにも理解しやすい「からだのはなし」や性感染症に関する知識などを専門家から直接きく機会とした。今回は母子家庭向けで、下は4歳から上は18歳の子を持つ母親が参加。

講演では「包括的性教育」の必要性と概説、年齢ごとに「必要な性に関する知識ポイント」に加え、参加者より事前募集した質問にも答えた。1時間では足りず、後に予定していた参加者同士の交流時間を講師が個別質問に答える時間に変更した。異性の子への対応などひとり親だけでは解決できないことを気兼ねなく話していた。

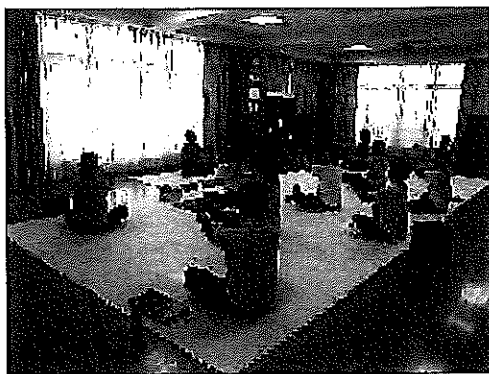
同様の講座を望む声が多くあり、今後も継続的に包括的性教育講座を実施したいと考える。

第5回 父子家庭対象:助産師さんにきく お父さんのための性教育講座

父子家庭対象企画として父親向けの包括的性教育講座を、母子家庭向け講座と同講師・同日に時間をずらして開催。10代後半の子どもを持つ父親が参加。マンツーマンに近い形での講座となったため、概説的な内容にとどまらず、各々の家庭での困りごとなどにも講師が答えていた。



第6・7回 がんばりすぎないエクササイズ KaQiLa(カキラ)体験会



日常生活で知らず知らずのうちにたまる身体の歪みやコリを、自分自身でケアできるよう頑張るすぎないエクササイズについての講習会を実施した。講師は、昨年度に続き一筆氏。「先生もとっても魅力的で声も良かった」と、参加者から好評であった。

午前中はおもにひとり親、午後はおもに寡婦を対象とし年齢層が近い講座を設定した。結果、それぞれの身体の不調の状態にあわせ、講師からこ

まかく指導を受けることができ、各人の満足度も高く、講座継続の希望が多かった。

第8回 ゆめあす養育費セミナー「改正民法で何が変わるの？」

2026 年4月施行の離婚後共同親権などを含む改正民法について解説する養育費セミナーの3回目。講師は養育費等相談支援センターの講師派遣事業(無料)を利用し、大阪ファミリー相談室より元家裁調査官2名の派遣を受けた。個別相談は午前と、講演後の合計6枠を設定した。講演では事前質問の内容に沿った説明があり、また改正点が伝わりやすいように法務省作成の Youtube 動画の紹介もあった(動画の URL はセミナー後に参加者へメール送付した)。質疑応答にも丁寧な対応があり、元家裁調査官という実務経験者の話がきけたのがよかった。

第9回 ゆめあす養育費セミナー「改正民法で何が変わるの？」

今年度の養育費セミナー4回目。6月同様、就労などで昼間に時間がとりにくい人を対象にウイングス京都にて平日の夜間に開催。セミナーでは「共同親権」に焦点をあてて解説。基本的な内容から、「学校関係での親権行使」など当事者が直面するであろう具体的な局面での影響について話があった。その場での質疑応答も多く寄せられ、当事者の不安解消に(現時点での)必要な情報提供ができたと考える。

個別の法律相談は3人。講師とは別の女性弁護士との2人で会場を分けて担当。夜間の開催ということで託児の利用も多くあり、同様の時間帯・場所での継続的な開催を望む声があった。

令和 7 年度(2025 年度)ファミリーネットワーク事業報告書

【事業目的及び実施状況】

本事業では親子で楽しめるイベントを中心に、親同士の交流、親子の会話、他のひとり親家庭と情報交換や悩みを共有できる場の提供をおこなっています。

京都市内にある博物館施設の見学会や、茶筌で点てる抹茶体験など京都の自然や文化資源を活用し、無料または低廉な実費負担を基本として、ひとり親家庭が親子で楽しめる内容を企画しています。

■年間イベント実施状況(令和 7 年4月～令和 8 年3月)

■実施内容詳細

	事業名	開催日	申込数	参加数	場所	参加費
第1回	父子家庭対象:焚き火ではなそう	4月25日(金)	10名	8名	宇多野ユースホステル	無料
第2回	京都の野菜を知ろう、味わおう	5月17日(土)	58名	35名	みやこめっせ内レストラン	無料
第3回	ゆめあす七五三撮影会	10月5日(日)	61名	8名	ゆめあす	1,500円
第4回	ゆめあす七五三撮影会	10月5日(日)		10名	ゆめあす	1,500円
第5回	クリスマスケーキプレゼント	10月5日(日)	153名	43名	ゆめあす	無料
第6回	クリスマスケーキプレゼント	10月5日(日)		34名	ゆめあす	無料
第7回	親子で楽しむミュージアム 博物館にウマ大集合～うまづくし展	1月10日(土)	75名	36名	京都国立博物館	無料
第8回	親子で楽しむミュージアム 博物館にウマ大集合～うまづくし展	1月10日(土)		24名	京都国立博物館	無料
第9回	野鳥おさんぽ観察会	2月8日(日)	33名	8名	京都市北文化会館	無料
第10回	野鳥おさんぽ観察会(警報発令により中止)	2月8日(日)				
第11回	おうちで抹茶を楽しもう	3月29日(日)	42名	16名	ゆめあす	無料
第12回	おうちで抹茶を楽しもう	3月29日(日)		16名	ゆめあす	無料

人数 計 432名 238名

第1回 父子家庭対象:焚き火ではなそう

昨年度の父子家庭向け企画の参加者より、実施希望のあった「焚き火」を囲みながらひとり親の男性たちで話す機会として開催。一般財団法人ポジティブアースネイチャースクールが運営する体験プログラム「焚火庵」を利用し、専門スタッフのサポートのもと、薪に火を点けるところから安全に体験した。焚き火で作るホットサンドや、おやつ(焼きマシュマロ)とコーヒー等の温かい飲み物を用意し、キャンピングチェアにゆったり腰掛けながら親子・父親同士で交流した。



京都市ひとり親家庭支援センターゆめあす

会場の宇多野ユースホステル中庭は緑が豊かな芝生の空間で、日没後にライトアップと焚き火の炎で非日常的な空間となり、参加者から好評であった。

第2回 京都の野菜を知ろう、味わおう

京都市内の農業の状況や野菜について紹介し、炭焼きグリルで「野菜を味わう」としていたが、当日は雨天のため屋外での炭焼きグリルではなく、店内の厨房で調理された野菜と肉料理(BBQ セット)を提供し、子どもの年齢層別グループで交流していただいた。

料理を待つ間に、京都市産業観光局農林振興室作成の「京の旬野菜」パンフレットを配付し、京都の野菜や農家について、ゆめあすで作成したクイズをテーブル毎に実施した。あわせて、野菜直売所などの情報が京都市の農産物がわかるサイトである『Kyoto. Vege Style』を紹介した。エコな地産地消としてお住いの地域にある農産物直売所の利用をすすめた。



第3・4回 七五三撮影会



千總ホールディングスより京都市へ寄贈された着物貸出事業用の七五三祝着を活用し、撮影会を行った。3歳・5歳・7歳それぞれ一式の着付けの他、プロのメイクアップアーティストによるメイク(顔・髪型)もおこなった。撮影はプロのカメラマンとアシスタントがおこなったが、小さな子どもでも飽きることのないよう工夫した対応があり、本格的なスタジオ設備のなかで撮影がおこなわれた。渡す写真は2ポーズ(上半身アップ、全身)だが、同伴のひとり親や兄

弟と一緒に写真も撮影されていた。終了後に千歳飴をプレゼントし、後日、六つ切り写真2枚台紙付きと、各人の撮影写真全データを入れた CDR を送付した。

第5・6回 クリスマスケーキプレゼント

有名洋菓子店のホールケーキのプレゼントと合わせ、ゆめあす1階ホール(遊戯室)にて、クリスマスツリーなどの飾り付けと、連合会役員が指導するクリスマスカード作りで交流していただいた。ほかに、写真撮影用の背景幕やぬいぐるみ等を設置し、サンタクロース(連合会役員)と一緒に写真撮影ができるようにした。

ひとり親家庭の親子だけで楽しめる空



京都市ひとり親家庭支援センターゆめあす
間を提供したことに好評をいただいた。またハーブティとお菓子のセットを母親向けにお
土産として手渡したことも喜ばれた。

第7・8回 親子で楽しむミュージアム 博物館にウマ大集合～うまづくし展

京都国立博物館で新春恒例の干支をテーマにした特集展示にあわせ、ひとり親家庭の
親子で観覧する機会とした。



音声ガイド(大人版とジュニア版)を事前予約し、
初めてでもミュージアムに親しめるようにした。あわ
せて博物館公式キャラクター「トラりん」との写真撮
影を可能にし、お土産にオリジナルグッズを配付し
た。実施時間は子どもの年齢層毎に午前と午後に分
けた。

参加者から「普段なかなかできない体験と一緒に
楽しむことができた。子どもの興味や気づきを間近
で感じることができ、とても良い経験になった」、
「幼児でも、とても綺麗な建物とお庭に興味津々で
笑顔で楽しそうだった」等の感想があった。

第9・10回 野鳥おさんぽ観察会

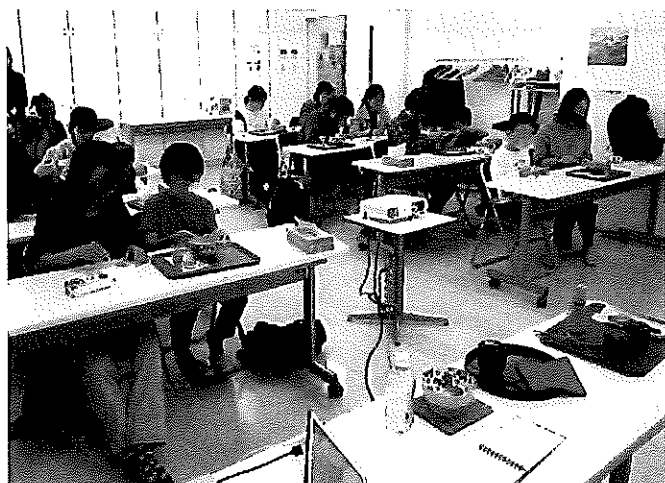
昨年に続き、日本野鳥の会京都支部の方を講師に迎え、親子で身近な自然に触れる機
会として開催。ただ当日の降雪により、野外での観察は中止した。前日のうちに講師が賀
茂川を下見され、観察予定地で撮影された野鳥の動画を上映いただいた。ほかにもパワ
ーポイントを使って野鳥についての基本的知識をクイズで解説いただいた。
(京都市域に大雪警報が発令されたため、午後開催予定の第10回は中止した)

第11・12回 おうちで抹茶を楽しもう

京都ならではの文化体験を親子と一緒に楽しむ機会として、昨年に続き開催した。

講師の指導により、親子それぞれが茶筌で抹茶を点てた。家庭
でも気軽に楽しめるよう各自が使
った茶筌・茶こしと、1回分ずつの
抹茶小袋を持ち帰ってもらった。
抹茶は通販サイトで購入数量制限
があったが販売元へ企画の趣旨
を説明したところ賛同を得、必要
数を購入できた。

和菓子は、ゆめあす近くにある
和菓子屋で購入。お茶席のような
本格的な主菓子を提供した。



後日寄せられた感想では、茶筌等を持ち帰ったことで家庭でも抹茶を楽しむことが出
来、「これからも親子で楽しんでお茶をたててみようと思う。最近子どもに怒ってばかり
だったが、お茶を一緒にたてることでほっこりした気分になった」という声があった。

京都市ひとり親家庭支援センターゆめあす

令和7年度(2025年度)度京都市ひとり親家庭支援センター利用者数

	大人	子ども	合 計
就業相談	858	26	884
一般相談(就業相談との重複含む)	1084		464(重複除く)
特別相談	73	5	78
就職準備セミナー	134	0	134
mama*cafe	93	22	115
パソコン講座	233	0	233
パソコン利用(相談時)	8	0	8
生活支援講習	87	44	131
ファミリーネットワーク	109	129	238
日常生活支援	22	0	22
着物貸出	30	26	56
スーツ	15	0	15
見学	18	0	18
会議室等利用	141	0	141
まつり等合同行事(11月)	205	200	405
ハローワーク巡回相談	81	4	85
その他	60	18	78
令和7年度合計	3251	474	3105

※令和6年度実績

2530

令和 7 年度

事業報告

京都市ひとり親家庭福祉連合会

児童館事業部

住吉児童館

葵児童館

下鳥羽児童館

岩倉南児童館

令和7年度 児童館事業活動報告

1 児童館事業活動 スローガンと施設理念

○児童館事業活動スローガン 「育む・広がる・つながる・みんなの児童館」

○施設理念

- 1 活動を通して子どもたちを健やかに育み、子どもたちの権利を尊重・擁護し、子どもたちの自立を支援します
- 1 あらゆる事柄を子どもの最善の利益に基づいて考えます
- 1 地域の子どもの大人も利用しやすい「敷居の低い」施設づくりを目指します
- 1 子育ての仲間を広げ、子育て家庭を支援し、子育ての社会連帯を促進します
- 1 つながりを大切にする地域社会を、地域の方々との連携を図る中で創造し、共生の街づくりを推進します

○住吉児童館施設理念

すみよしのこの みんなの居場所 よってこか しきい（敷居）の低い児童館

○葵児童館施設理念

育む・広がる・つながる みんなの児童館

○下鳥羽児童館施設理念

3つの「あ」 あいさつ ありがとう あとかたづけ

○岩倉南児童館施設理念

こどもにやさしい街を 子育てが楽しい街を～岩倉南児童館の願いです～
こどもにやさしい、こどもが楽しい、こどもと行きたい、みんなの居場所

2 専門部活動報告

◎事業推進活動 事業推進部会

利用者のニーズや満足度、利用上での改善点を調査し、次年度に活かすことを目的とする。

◇利用者アンケートの実施◇令和7年11月～12月、まとめと公表◇令和8年1月～3月

対象：学童クラブ保護者・学童クラブ児童・乳幼児保護者・自由来館児童（小学生・中高生）

利用者には答えやすく、作業は効率的になるようにアンケートフォーマットを改めた。結果をまとめる作業では4館共通したフォーマットを作った。今年度は大変だったがこれにより、次年度は館の中で誰が担当しても作業がやりやすくなった。また、担当一人ではなく、館のなかで集計し、まとめる作業を皆で分担してできるようにした。

◎研修活動 研修部会

職員のスキルアップ、業績向上、行動変容、人材育成を目的とする。

◇派遣交換研修◇ 実施日：令和7年10月27日（月）～31日（金）

下鳥羽【岡田】⇒住吉へ 住吉【石井】⇒岩倉南へ

葵【仲西】⇒下鳥羽へ 岩倉南【奥田】⇒葵へ

●研修中、館長とのヒヤリングを行い、自身を振り返ったり、自館との違いや活かせることを学ぶ機会とする。研修後、レポートを作成し、自館の館長とヒヤリングを行い成果を評価した。

◇悉皆研修◇ 実施日：令和8年1月28日（水）・30日（金）10時～12時
テーマ：「児童館・学童クラブ事業の職員による虐待に関する通報義務等について」

講師：古田 敏恵館長（京都市住吉児童館）

会場：京都市岩倉南児童館（28日）・京都市住吉児童館（30日）

●子どもの権利が守られている＝児童館に求められていることを理解し、虐待に関する通報義務についての通知を確認、共有し、性暴力・性被害防止の職員の取り組みについて考えた。
子どものセーフガーディングの取り組みを知り、法人児童館としてのセーフガーディング職員行動規範を策定することへつなげる。

◎交流活動 交流会部会

各児童館の事業の向上と、こども同士の交流を図ることを目的とする。

実施日：令和7年11月15日（土）

4館の子どもたちが一堂に会し、一緒に遊びながら交流を図る形で実施した。

会場：下鳥羽児童館

参加数：児童36名、職員16名、アルバイト職員9名、ボランティア4名 計65名

内容：あいさつじゃんけん・ドッジボール・ウォークラリーなど

◎親睦活動 専門部親睦部会

児童館や法人全体の職員の親睦を図るなかで、それぞれの業務を理解し、法人職員としての意識の向上を図ることを目的とする。

児童館親睦 実施日：令和7年6月24日（火） ※新規採用職員歓迎会を兼ねる

法人親睦 実施日：令和8年3月21日（土） ※退職職員送別会を兼ねる

3 その他報告

葵児童館 令和8年度～令和13年度、岩倉南児童館 令和8年度～令和12年度指定管理者に選定される

書面指導監査

【下鳥羽】

指摘事項 なし

指導事項 避難訓練は月1回以上実施してください。

【岩倉南】

指摘事項 なし

指導事項 避難訓練は月1回以上実施し、漏れなく訓練内容を記録してください。

実地指導監査

【葵】

口頭指摘事項 年10日以上有給休暇を付与した労働者については、年5日以上を確実に取得させること。

指導事項 施設運営

- (1)避難確保計画に基づき水害の状況を想定した訓練を行った場合は、所定の様式により育成推進課へ報告してください。
- (2)消火訓練を実施した際は、漏れなく訓練内容を記録してください。
- (3)非常勤職員の年次有給休暇について、年次有給休暇管理簿を作成し適切に管理してください。

児童支援

事故により児童が医療機関を一度でも受信した場合は、事後に把握した場合も含め、事故報告書を育成推進課へ提出してください。

【住吉】

指摘事項 なし

指導事項 プール活動・水遊びに係る事故の発生を想定した救命シミュレーション訓練は、実施場所で行ってください。

大規模修繕、改修工事

【岩倉南】学童ロッカー、靴箱増設

【葵】特記事項なし

【下鳥羽】2階窓枠取替工事 屋上・防水工事 防犯カメラ配線工事 靴箱購入

【住吉】図書室入り口、本館入り口扉取り替え工事

4 次年度重点項目

○「こどもの性暴力防止法」施行に向けて職員行動規範作成ワークショップの開催

○中長期計画

①事業継続計画の策定（次回、第三者評価の受審までに策定予定）

②第三者評価の受審（次回指定管理に向けて令和9年、10年予定）

③各館で使用中のマニュアル等書式の統一

○労務管理

定時退勤と年休取得の奨励

○新人職員及び新人館長の育成

〈令和7年度住吉児童館事業報告〉

1, 事業実施報告

大項目	実施報告
1, 業務水準の向上	行事活動記録紙の事前共有を徹底し、職員の分担や子どもの動きを確認することで、利用者の満足度とリスクヘッジを行うことができた。 事務室の整理整頓が課題。
2, 生活環境の整備	要るものを使いやすい場所に置き、カテゴリー別にストックの場所を定めたことで、必要以上のストックを抱えることなく経費削減の一助となった。
3, 子ども育成 子育て家庭支援 地域福祉促進	子ども育成では、例年通りの行事を実施できた。登録制のクラブ活動を増やした。SDGsを身近に感じてもらうためにエコアクションを行った。 子育て家庭支援では、乳幼児クラブを発達段階に応じてクラス編成をし、従来のスキップ、ほっぺに加えタッチクラブを発足した。 地域福祉促進では、少補のデイキャンプに参加し、児童館が持つノウハウを生かすことができた。 夏まつりの時期の選定が課題。
4, 人材育成	年度途中に退職者があり組織力が低下したが、新人の育成や業務の効率化を考える機会となった。
5, 働きやすい職場環境	業務繁忙期に1名欠員で対応したので、一人ひとりにかかる負担が大きかった。必然的に超勤が多く発生した。

2, 職員配置状況（人） アルバイト1名増

	施設長	児童厚生員	クラス担当	アルバイト	計
常勤職員	1	4			5
非常勤職員			5	5	10
合計	1	4	5	5	15

3, サービス別利用者数（人）年間利用状況報告書数参照

4, 事業行動報告 行事は活動報告参照 安全管理の消火訓練及び学童帰宅指導は毎月1回実施

	4月	5月	6月
業務管理	今年度の課題と目標設定		職員フォローアップ
生活管理（点検）	館庭東側草刈り、花壇整備	館庭遊具	館庭西側草刈り
安全管理	（職）避難訓練担当確認 1年生対象：避難のしかた	火災避難訓練	（幼児）交通安全 協力：伏見警察署 火災避難訓練

	7月	8月	9月
業務管理			
生活管理 (点検)	手洗い場・台所等衛生管理	空調設備 乳幼児おもちゃ	洪水災害時避難経路
安全管理	熱中症対策DVD学習	(学童)交通安全 協力：伏見警察署	水害避難訓練 協力：伏見住吉小学校
	10月	11月	12月
業務管理		職員フォローアップ	インフルエンザ予防接種 推進、異動ヒヤリング
生活管理 (点検)	館庭東側及び花壇草刈り	消防用設備点検	館内危険個所の洗い出し
安全管理	不審者訓練(職員対象、 小学生対象)	火災避難訓練、通報訓練 協力：伏見消防署	(学童)交通安全
	1月	2月	3月
業務管理	職員健康診断	学童登録申請事務	業務の振り返り 次年度事業計画策定
安全管理	ガス器具点検	敷地内外構	ロッカー等備品 館内非常時避難経路
安全管理	地震避難訓練	火災避難訓練	地震避難訓練

【館内研修】

正規職員対象：各職員が90分の持ち時間で、テーマを決めてパワポを使って発表をする。パワポの資料作りと使い方を知り、人前で発表するスキルを磨くことを目的とする。今年度は各自が担当した児童館行事の事前準備から当日、振り返りをまとめて拡大職員会議の場で発表した。非常勤職員からは、関わった行事はもちろん、関わらなかった行事も知ることができたと好評だった。11月【石井】「夏まつり」 12月【秋山】1月「宿泊活動」 1月【山下】「ミニミュンヘン」 3月【若原】「入職してから感じたこと、学んだこと」：発表後、良い点、改善点を出し合い今後に活かす。自分の発表のレポート、他人の発表の評価レポート作成

【外部研修】

【児童健全育成推進財団主催】「全国児童厚生員等指導者養成研修会」参加(古田)

【全国児童厚生員研究協議会/全国児童館連絡協議会/児童健全育成推進財団主催】

「第20回児童館児童クラブ大会神戸」参加(古田)

【育成推進課主催】「子ども・若者の声を聴く」参加(古田)

【児童健全育成推進財団主催】「全国子どもの健全育成リーダー養成セミナー」(古田)

成果と課題

人員不足があり定時退勤、年休取得の推奨に至らなかった。次年度は人員を充足させて業務の効率化と新人の育成に力を注ぎたい。

地域連携では、少年補導委員会主催のデイキャンプに職員が参加し、火を起こして飯盒炊飯をしたり川遊びの見守りなどの児童館が持っているノウハウを地域に還元することができた。

夏まつりでは、公園の防災ベンチを使ってブース展開をした。土木事務所や消防署、地域の消防分団の協力が得られたことを今後も継続してつなげていきたい。防災啓発も同時に行った。長中期計画として児童館の防災対策にも注力したい。

〈令和7年度葵児童館事業報告〉

1, 事業実施報告

大項目	実施報告
1, 業務水準の向上	アルバイトを含めた全ての職員で配慮が必要な子どもの共有と意見交換の定例化を実施した。 担当の行事計画の説明を尊重しながら意見を出し合い、実行した。
2, 生活環境の整備	昨年同様に、各部屋の整理整頓を定期的に行い、清掃時や昼休憩後など、設備点検のルーティン化を図った。
3, 子ども育成 子育て家庭支援 地域福祉促進	乳幼児クラブにおいては昨年同様に運営方法を記録に残していった。学童クラブでは、ICTを有意義に活用し業務の効率化が図れた。安全計画の策定。 保護者と連絡を密にし、信頼関係の構築を心掛けた。地域の社会資源の活用に意識を向け、幼保小との連携を図った。 地域の団体連絡協議会に参加し連携を図った。
4, 人材育成	目標設定と振り返り面談の実施を定期的に行った。
5, 働きやすい職場環境	4週8休の導入により効率的に業務を行う意識づけが出来た。職員と非職員の振り返り会議を毎日実施し情報の共有化を図った。

2, 職員配置状況（人） アルバイト1名増

	施設長 正規職員	児童厚生員 正規職員	クラス主任 常勤職員	クラス担当	アルバイト	計
常勤職員	1	4	1			6
非常勤職員				5	9	14
合計	1	4		5	9	19

3, サービス別利用者数（人）年間利用状況報告書数参照

4, 事業行動報告 行事は活動報告参照

安全管理の消火訓練は毎月1回実施

	4月	5月	6月
業務管理	今年度の課題と目標設定		自己評価シート
生活管理（点検）		ロッカーの整理整頓	
安全管理	（職）避難訓練担当確認	火災避難訓練	火災避難訓練

	7月	8月	9月
業務管理	業務マニュアルの作成		接遇マナー自己評価
生活管理 (点検)		ロッカーの整理整頓 乳幼児おもちゃの整理	洪水災害時避難経路
安全管理	火災避難訓練	火災避難訓練	火災避難訓練
	10月	11月	12月
業務管理		職員フォローアップ 自己評価シート	インフルエンザ予防接種 推進、ヒヤリング実施
生活管理 (点検)		消防用設備	館内危険個所の洗い出し
安全管理	火災避難訓練	火災避難訓練	火災避難訓練
	1月	2月	3月
業務管理	職員健康診断 職員フォローアップ	学童登録申請事務 接遇マナー自己評価	職員の健康診断 事業計画
生活管理		敷地内外構	ロッカー等備品 館内非常時避難経路
安全管理	地震避難訓練	火災避難訓練	ふれあいセンター内の総 合火災避難

【館内研修】

問題行動対応、アレルギー対応、危機管理、医療ケア対応

【外部研修】

外部研修：放課後児童支援員認定資格研修に正職1名派遣 5月

交換研修：児童館連盟にによる中堅職員交換研修に参加

成果と課題

今年度は夏祭りやクリスマス会等、地域住民や子どもが参加出来る行事を重点的に増やしていった。ただ、まだまだ地域間交流や、乳幼児親子と学童クラブ児童等の世代間交流が少ないのが現状であるので、状況を鑑みて交流がメインのイベントを今後増やしていきたい。

月1回の防犯防災訓練を実施しており、子どもや利用者の安心安全を第一に考えている。自然災害等も増加傾向にあるので、今後も引き続き実施をしていきたい。

〈令和7年度下鳥羽児童館事業報告〉

1, 事業実施報告

大項目	実施報告
1, 業務水準の向上	日々ミーティングを行い、事案・対応等を共有し、意見交換等を行う。アルバイト職員とも情報共有し、利用児童にとっての利益追求を全体で目指した。
2, 生活環境の整備	毎日の清掃を徹底。月1回安全点検日を設けて、敷地内・施設前公園の環境整備を行った。靴箱の老朽化に伴い、新たに購入。
3, こども育成 子育て家庭支援 地域福祉促進	乳幼児親子事業では、民生児童委員との共催で月1回の行事実施を行い、児童館の周知・利用数増加に繋げた。児童館行事では、全世代が参加できる行事（ミニはくぶつかん・ポーセリンアートなど）を行い、一定の成果が得られた。 学童クラブ事業では、保護者との連絡を大切に、信頼関係の構築に努めた。また、地域行事への参加・引率を積極的に行い、学童クラブと地域団体との関係性を深めることができた。
4, 人材育成	日々のミーティングでの打ち合わせ、事例研修を行った。 職員ヒヤリング
5, 働きやすい職場環境	行事数は増加したが、効率的な運営を進め、労働時間の適切な管理に努めた。 5時以降に随時ミーティングの時間を取り、勤務時間内でのスムーズな情報共有を行った。

2, 職員配置状況（人）

	施設長	児童厚生員	クラス担当	アルバイト	計
常勤職員	1	4			5
非常勤職員			6	3	9
合計	1	4	6	3	14

3, サービス別利用者数（人）年間利用状況報告書数参照

4, 事業行動報告 行事は活動報告参照

安全管理の消火訓練は毎月1回実施

	4月	5月	6月
業務管理	今年度の課題と目標設定	職員ヒヤリング	
生活管理（点検）	新入生受け入れ		
安全管理	総合避難訓練 安全点検	消火訓練（消防署依頼） 安全点検	不審者対応（動画視聴） 安全点検

	7月	8月	9月
業務管理	職員健康診断		職員ヒヤリング
生活管理（点検）	空調設備点検	空調設備清掃	洪水災害時避難経路
安全管理	不審者対応(警察署依頼) 安全点検	浸水訓練（動画視聴） 安全点検	浸水避難訓練 (小学校避難)・安全点検
	10月	11月	12月
業務管理	法人内交換研修		インフルエンザ予防接種推進 職員健康診断
生活管理（点検）		消防用設備等点検	大掃除
安全管理	火災訓練（動画視聴） 安全点検	火災避難訓練 安全点検	地震訓練（動画視聴）
	1月	2月	3月
業務管理		学童登録申請事務 職員フォローアップ	業務の振り返り 次年度事業計画
生活管理（点検）		敷地内外構	次年度準備・大掃除
安全管理	地震避難訓練 安全点検	火災避難訓練(消防署依頼) 安全点検	不審者訓練 (警察署依頼)

・内部研修：児童の問題行動・事案対応（随時）

危機管理

アレルギー対応

成果と課題

・前年から継続して、乳幼児親子家庭向けの行事の充実に努めた。講師を招いて実施した「絵てがみ体験」や伏見警察署職員による「乳幼児向け交通安全教室」など、新たな行事も実施し、一定の成果を上げることができた。一方で、乳幼児クラブ登録家庭数は減少傾向が続いており、来年度以降は実施方法も含めて検討していく。

・地域の方向け（全世代）の行事を例年より増やして実施した。夏には「しもとばサマーフェスタ」を民生児童委員会と共催し、マジックショーには100名を超える来場があった。また、講師招いて開催した「ミニはくぶつかん」や「ポーセリンアート」では、子どもから大人まで多くの来館があり、普段なかなか体験できない学びや経験に触れる機会を提供することができた。

・学童クラブでは「子どもたちの意見や思い」を積極的に取り入れるため、「3年生会議」「高学年会議」を定期的に実施した。行事の司会やだがしやさんの運営、館外活動の行き先など、子ども主体の運営を目指し、子どもたちが意見を発信・実現できる環境づくりを進めることができた。

・地域夏祭り実行委員の一員にもなり、地域行事への参加・協力を積極的に行った1年となった。令和8年度は下鳥羽小学校150周年事業も予定されており、より保護者・地域との協力や連携を深めながら、子どもたちが楽しく安心して過ごせる児童館運営に努めていく。

〈令和7年度岩倉南児童館事業報告〉

1, 事業実施報告

大項目	実施報告
1, 業務水準の向上	一人ひとりが意見を言い易い環境を作るため、職員会議等の日程を増やしていった。また新たに事務職員を雇用し、職員が担っていた業務の一部を委ねることで、その空いた時間に児童の受入れ業務や、お便り作成等の業務を遂行した。
2, 生活環境の整備	利用者の安全と、効率的な業務の遂行のため、毎月1回安全点検日を設け、項目ごとに状況を確認した。日頃の整理整頓、非常時の対応の際の問題点が課題としてあがった。またロッカーや靴箱の増設を行い、利用者の方々が利用しやすい環境を整え、利便性を高めていった。
3, 子ども育成 子育て家庭支援 地域福祉促進	子育て家庭支援活動として、乳幼児クラブ・遊びの広場・学区民協との子育てサロンを実施した。学童クラブでは、260人、5クラスの受入れ、運営を行いつつ、未実施の行事にも取り組み、子どもたちも楽しく満足感を持てた。児童の行動や出来事については、保護者や学校と連絡を密にし、児童館を含めた三者の連携で子どもへの支援を考えられた。 R7年度は児童館まつりを行い、地域の方々が児童館を改めて認知し、利用が出来るように様々な企画と運営を実施した。 学生の実習、ボランティアの受入れを行ない、地域の社会資源の活用を意識を向け、子どもの遊びや活動の充実に繋げた。
4, 人材育成	目標設定と振り返り面談を行い、児童厚生員としてのスキルアップに意識的に取り組める機会を作った。
5, 働きやすい職場環境	4週8休により休みの保障は一定できた。定時退勤と時間内での業務遂行を目指したが、業務遂行の為とはいえど全体的に超過勤務や休日出勤が多く、次年度の大きな課題として残った。

2, 職員配置状況(人) 常勤アルバイト1名増

	施設長 正規職員	児童厚生員 正規職員	クラス主任 常勤職員	クラス担当	アルバイト	計
常勤職員	1	4	1			6
非常勤職員				15	1	16
合計	1	4	1	15	1	22

3, サービス別利用者数計(人) 年間利用状況報告書数参照

4, 事業行動報告 行事は活動報告参照 安全管理の消火訓練及び学童帰宅指導は毎月1回実施

	4月	5月	6月
業務管理	今年度の課題と目標設定		
生活管理(点検)	各部屋の全体環境整備	図書・おもちゃの整備	
安全管理	職員: マニュアル研修	交通安全	火災避難訓練

	7月	8月	9月
業務管理			自己目標前期振り返り
生活管理 (点検)	エアコン掃除 全館大掃除		
安全管理	水害台風避難訓練	防犯訓練	火災避難訓練
	10月	11月	12月
業務管理			インフルエンザ予防接種 推進、ヒヤリング実施
生活管理 (点検)		消防設備点検	2階テラス音響設置 人感センサー設置 全館大掃除
安全管理	地震避難訓練	交通安全	火災避難訓練
	1月	2月	3月
業務管理	職員健康診断	学童登録申請事務	業務の振り返り 次年度事業計画
生活管理		敷地内外構	全館大掃除
安全管理	地震避難訓練	防犯訓練	地震避難訓練

【館内研修】

【外部研修】

外部研修：放課後児童支援員認定資格研修にアルバイト職員1名派遣

成果と課題

自由来館の小学生や中高生の利用が少ないので、小学生対象のクラブ活動を実施し、中高生の利用に繋がるように学校側へのビラの配布等の広報活動を行い、地域に拓かれた児童館であることを再度アピールしていき、誰もが利用しやすい場所として認知を広げていきたい。

次年度は業務の効率化や他の職員がどの業務を遂行しているかを可視化し、お互いにフォロー出来る体制を目指し、先程挙げた課題に対して取り組んでいきたい。

<児童館事業>

	活動名	実施月	内 容	参加人数	備考
子ども育成機能	5時以降利用者	毎月	中高生世代を中心に5時から遊戯室をメインに卓球、勉強等自由に過ごす。	616	
	みんなあそび	毎月	還水曜日、集団でできるいろいろなあそびにチャレンジする(自由参加)	428	
	ボールクラブ	毎月	隔週水曜日、集団でドッジボールを楽しむ(自由参加)	367	
	オニム道場	6月	1年生対象初めましてオニム、大会に向けての練習	31	
	マンカラ道場	5月	2年生対象初めましてマンカラ、大会に向けての練習	26	
	卓球道場	1月	大会に向けての練習	42	
	七夕の集い	7月	たなばたに因んだお話を聞き、たなばた素麺を食する	92	
	マンカラ大会	8月	大会を行う中で技を競ったり、お互いの健闘を称える	32	
	オニム大会	8月	大会を行う中で技を競ったり、お互いの健闘を称える	38	
	クリスマス会ステージ会場・練習	12月	クリスマス会ステージ出演者を募り、会議、練習を重ねる	180	
	クリスマス会	12月	クリスマス会ステージ発表、人形劇、ビンゴを楽しむ	158	
	お正月あそび	1月	お正月に因んだ遊びを行う	71	
	卓球大会	1月	大会を行う中で技を競ったり、お互いの健闘を称える	23	
	廃材アート教室	8月	外部講師を招き、身近な廃材を使って工作を楽しむ	49	
	節分の集い	2月	たなばたに因んだお話を聞き、恵方巻を食する。鬼出演	61	
	ミニムンヘン	8~10月	小学生が参画し、ワークショップを経てお店ブースの企画、運営をおこなう	81	
	やんちゃフェスタ	10月	梅小路公園で行われる全市のこどものおまつりに参加する	33	
	駄菓子子のすみち	2月	児童館で駄菓子屋さんを行う。高学年から中高生がお店を展開する	152	
	宿泊活動	10月	アクトバル宇治で1泊2日の宿泊活動(3年生以上自由参加)	47	
	工作クラブ	毎月	年間を通して活動。季節に因んだ工作をし、児童館の中を飾りつける	145	
	ガーデニングクラブ	毎月	年間を通して不定期に活動。館庭で季節の野菜や花を育てる	149	
	おんがくクラブ	毎月	2年生以上対象。月1回土曜日開催	135	
	ボードゲームクラブ	毎月	月1回開催。みんなでボードゲームを楽しむ	109	
	おりがみクラブ	毎月	毎月曜日開催。教えてもらいながら好きな折り紙を折る	130	
	けん玉・コマ教室	9月	伝承遊びに興味を持ち、親しむ	58	
	けん玉大会	10月	大会を行う中で、技を披露し級検定を行う	7	
	コマ大会	10月	大会を行う中で、技を披露し級検定を行う	9	
	ハロウィン仮装大会	10月	自分で選んだ仮装をして、グループで面白さ、楽しさを競う	88	
	中高生と赤ちゃん・助産師学校訪問	8~1月	中高生世代が赤ちゃんとその保護者とふれあい、子育ての楽しさ、大変さを体験する	116	
	児童館全体地震避難訓練	12月	クリスマス会の後、1分間身を守る体験と児童館の対策を伝える	138	
子育て家庭支援機能	幼児クラブ「タッチ」(金)	毎月	金曜日、月3回。たちへよちよちのお子さんと保護者	313	
	幼児クラブ「スキップ」(木)	毎月	木曜日、月3回。概ね2歳前後からのお子さんと保護者	308	
	乳児クラブ「ほっぺクラブ」(火)	毎月	火曜日、月3回。ねんね〜はいはいのおこさんと保護者	478	
	リミックス	10月	外部講師を招いて親子でリミックスを楽しむ	12	
	ハンドメイドサロン	2月	外部講師を招いてボーセリングに挑戦する。託児あり	29	
	リユースデイ	奇数月	家庭で要らなくなったおもちゃ等を必要な方に譲るリサイクルデー	19	
	おもちゃ病院	奇数月	SKYおもちゃ病院によるおもちゃの病院	98	
	ランチタイム	毎日	家庭から昼食を持ち寄り、乳幼児親子がランチをする	17	
	ハロウィンウォーク	10月	住吉幼稚園、運営協力会の参画でハロウィンを楽しむ	36	
	スタジオすみよし	11月	来年のえとの着ぐるみを用意し、家族で年賀状などの写真撮影会	55	
	ベビーマッサージ	2, 3月	外部講師を招いてベビーマッサージを通して親子のスキンシップを図る	11	
	子育て情報ボード・ライブラリー	随時			
	子育て相談	随時			
	ゆずります・ゆずってください	随時			
地域福祉促進機能	毎朝クラブ人形劇サークル「おきるのかこや」	毎月曜日	サークルの活動をおこなう(人形劇の新作小物作成や練習、公演)	105	児童館ニュース発行
	民生委員会議部屋利用	毎月1日	民生委員会の定例会の会場の場所貸し	142	各種お便り地域配布
	少年補導委員会議部屋利用	随時	少年補導委員会の会議の会場の場所貸し	94	
	夏まつり実行委員会	6月、7月	夏まつりに向けの実行委員会(2回)	30	
	夏まつり	8月	地域に向けた夏まつり。住吉会をはじめ、諸団体の参画あり	849	
	すみよし焼いもデー	11月	地域に向けて焼き芋をふるまう。保護者会の参画あり	344	

<学童クラブ事業>

	取組・行事名（クラス名）	実施日	内 容	参加人数	備考
生活援助機能	帰宅指導	随時			
	生活班・帰宅班形成	毎日			
	当番活動	〃			
	おやつ提供	〃			
	ロッカー掃除	月1回		91	
	館内掃除	学校休業日		308	
	お弁当いらないデー	夏春休み	学校休業日の昼食を館から用意し、みんなで食す	622	年8回
子ども育成機能	お誕生日会	月1回	毎月、みんなで誕生月の友だちを祝う	1109	
	課題の時間	長期休業中	学校休業日にさまざまな課題をする	766	
	1年生みんな遊び	4月	4月に1年生のみで楽しく遊び、仲間を知る	192	
	2年生乳幼児クラブ参加	8月	2年生有志が乳幼児クラブ絵本や遊びを通して乳幼児とふれあう	11	
	3年生おやつのお買い物	10月～3月	グループを作って、予算の範囲で買い物をし、配布、みんなで食す	13	
	子ども会議(3年生以上)	10月	お買い物について会議を行う	41	
	高学年クラブ	月1回	自分たちでやりたいことを決めて、職員と相談しながら進める、先生のお手伝い	104	
	高学年お楽しみ会	3月月	高学年が企画した内容を楽しむ（軽食、おやつのお買い出し、ゲーム）	14	
	新入生オリエンテーション	4月	1年生に児童館の紹介をする	35	
	新入生歓迎会	4月	班ごとにゲームを楽しむ	109	
	水遊び	8月	館庭で濡れてもよい服で、水鉄砲や水風船を楽しむ	22	
	子ども手作りランチ	8月	夏休みの1日、調理実習を行い、全員で食す	91	
	お盆の鐘つき	8月	児童館の隣のお寺の鐘を開放していて、学童クラブ児童も参加する	14	
	エコアクション(ゴミ収集のセミナー)		エコまちステーションから職員にきてもらい、ごみの収集の流れを学ぶ	83	
	伏見子どもまつり				
	人権学習	10月	名前は自分がかけがえのない存在であることを示し、自分も友だちの名前も大切にすることを考える	84	
	年越しうどん	12月	昼食に職員の手作りうどんを食べて、大掃除をおこなう	61	
	なかよしマーケット	1月、3月	近隣5組との交流し、高学年が他組の手作り商品を仕入れ、お店を運営し、低学年がお客さんになる	103	
	子ども新年会	1月	お正月遊びを楽しむ	71	
	進級おめでとうの会	3月	1年の締めくくりとして、卒業生を祝い、思い出のアルバムを見る	90	
	遠足オリエンテーション	3月	遠足に向けてのオリエンテーション	92	
	遠足	3月	春休みに貸し切りバスで遠足を行う	96	大阪市自然史博物館
	交通安全教室	5月	伏見警察署からきてもらい、交通安全教室をおこなう	102	
	防災訓練(地震・火災・水害)	毎月	地震、火事、水害を想定した避難訓練をおこなう	506	
	消火訓練	毎月	訓練用の消火器を使った消火訓練	126	
	防犯教室	7月	伏見警察署からきてもらい、防犯教室をおこなう	92	
	2館交流	6月	下鳥羽、住吉児童館の交流	30	
	4館交流	11月	葵、岩倉南、下鳥羽、住吉の交流	60	
	熱中症注意喚起動画視聴	7月	夏休み前に動画視聴しながら、熱中症について学び、夏休みの生活に生かす	90	
	児童健全育成推進財団の課題の考案	11月	こどもまんなかの標語を考え、投稿する	5	
子育て支援機能	ICTシステムの活用	毎日			
	小学校との相互連絡	随時			
	電話等の相互連絡	〃			
	PJA役員会		学童クラブ保護者会の役員を選出し、年8回程度役員会を開催する	48	
	PJA総会	4月	学童クラブ保護者会の総会	26	
	新規申請者説明会	1月、3月	1月には、登録のシステムの説明会、3月には新規登録者対象に学童クラブの説明会を行う	70	
	保護者懇談会・個人懇談会	年3回	全体の懇談会を学期ごとに開催、7月は1年生対象に12月は希望者に個人懇談会を行う	110	
	PJA親子行事	11月	親子でドッジボールを楽しむ	90	

<児童館事業>

	活動名	実施月	内 容	参加人数	備考
子ども育成機能	6時以降利用者	毎月	6時から遊戯室をメインに卓球、勉強等自由に過ごす。		毎金曜日
	ボールクラブ	毎月	児童館館庭で子ども達がボールを使った遊びを行う	463	
	クラフトデー	毎月	職員が企画した工作を楽しむ	449	
	七夕の集い	7月	七夕をテーマにした伝承行事		
	避難訓練	毎月	地震・火災・洪水・浸水を想定した訓練		
	水遊び	8月	児童館テラス・館庭で水遊びを楽しむ		
	かき氷	8月	夏の暑い日に納涼を兼ねて、かき氷を食べる		
	ハロウィンイベント	10月	ハロウィンをテーマにした工作を行う		
	クリスマス会ステージ発表・練習	12月	有志によるクリスマス会に向けてのステージ発表の練習		
	クリスマス会	12月	太鼓クラブとよさこいクラブの発表・ステージ発表・ビンゴ大会	116	
	村松児童館との卓球交流	1月	村松児童館との交流を兼ねて卓球を行う		
	節分の集い	2月	節分をテーマにした伝承行事	80	
	太鼓クラブ発表会	3月	保護者を招いた太鼓クラブの発表会		
	夏のお楽しみ会	8月	かき氷・水鉄砲。水遊び	137	
	よさこいクラブ	毎月	毎月2回、遊戯室でよさこいを踊る。	66	
	よさこいクラブ公演	依頼月	昨年度：京都やんちゃフェスタ・北山ふれあいセンターまつり・入会式・クリスマス会		
	バスケットボールクラブ	毎月	毎月、およそ2回、館庭でバスケットを楽しむ	174	
	茶道クラブ	毎月	お茶の作法やマナーを学ぶ	331	
	ソフトテニスクラブ	毎月	毎月2回、テニスコートを借りてスポーツを楽しむ	157	
	太鼓クラブ	毎月	児童館行事や地域のイベントに出演	180	
	太鼓クラブ公演	依頼月	昨年度：カノン下校・橋大学シンポジウム・伊学院児童館まつり・入会式・クリスマス会等		
	みちくさサタデー	毎月	毎月第4土曜日に中高生が優先的に児童館の施設を使用出来る	18	年間を通して活動 年4回
	中高生と赤ちゃんの交流事業	7月～12月	中高生が母乳作り・お出掛け・出産時の話を体験する	98	
	洛北高校と乳幼児クラブ交流	1月～2月	洛北高校2年生の家庭科の授業で乳幼児クラブと交流を行う		
	北山ふれあいセンター合同火災訓練	9月・3月	北山ふれあいセンター各事業所との合同火災訓練		
子育て家庭支援機能	乳児クラブ「ふたば」木曜日	毎月	0ヶ月～7か月までが対象	620	月2回
	乳児クラブ「つばみ」水曜日	毎月	8ヶ月～1歳半までが対象	623	月2回
	幼児クラブ「ひまわり」火曜日	毎月	1歳半～までが対象	594	月2回
	いどばたサロン 月曜日	毎月	民生児童委員会が主催の自由参加の広場	145	
	はなまる子育て相談会 月曜日	毎月	はぐくみ保育士・療育施設ボゴ園長、民生児童委員さんの発達に関する相談会	145	
	リユースデイ	奇数月	おもちゃ・洋服・本等のリユース品を提供する	58	
	おもちゃ病院	奇数月	ボランティアさんが壊れたおもちゃを修理する skyおもちゃ病院主催	191	
	ちいさな絵本の会	毎月	地域のボランティアさんが主催する絵本の読み聞かせ会	108	
	はじめのいっば	毎月	ママサークル主催でママの為のコーチングとヨガを開催	55	
	ベビーマッサージ	毎月	親子のスキンシップを目的に職員主導で行う		
	ママのためのハンドケア	毎月	ママの為のリフレッシュする時間を提供する	44	
	ハッピーヨガ	毎月			
	水遊び		乳幼児さんと学童クラブの児童の交流	120	
地域福祉促進機能	子育て情報ボード・ライブラリー	随時			
	子育て相談	随時			
	ゆずります・ゆずってください	随時			
	夏まつり実行委員会	6月～8月			児童館ニュース発行 各種おたより地域配布
	夏まつり	8月			
	洛北高校茶道部合同茶会	7月・1月		88	
	北山ふれあいセンターまつり	11月	センターの各事業所が会し、地域向けに開催するおまつり		

<学童クラブ事業>

	取組・行事名	実施月	内 容	参 加 人 数	備 考
生活 援 助 機 能	帰宅指導	随時			
	生活班・帰宅班形成	毎日			
	当番活動	〃			
	おやつ提供	〃			
	ロッカー掃除	月1回			
	年末大掃除	12月		34	
	お弁当いらんデー	学校休業日	長期休み期間中、数回実施	956	
子 ど も 育 成 機 能	お誕生日会	月1回	毎月、みんなで誕生月の友だちを祝う		
	朝学習	学校休業日・土曜日	長期休み中や土曜日に行い、子どもの学習時間を確保する		
	新入生オリエンテーション	4月	初めて学童クラブを利用する子どもを対象にルール等を伝える	166	
	入会式	4月	新規入会児童や保護者を招き、学童クラブの遊びの発表や太鼓・よさこいクラブの演目を観る		
	新入生歓迎会	4月	新しい班分けを元に、班対抗のゲームを行う。その後特別おやつを食べる	165	
	3ブロック卓球大会	6月	左京・東山ブロックの有志の館が集まり、卓球大会を行う		
	高学年宿泊活動	8月	高学年を対象にした宿泊活動		
	水遊び	8月	児童館テラス・館庭で水遊びを楽しむ	89	
	かき氷	8月	夏の暑い日に納涼を兼ねて、かき氷を食べる		
	左京・東山ブロックやんちゃまつり				
	法人4館交流				
	村松児童館との卓球交流		村松児童館との卓球交流。葵児童館の元学童クラブの中学生も参加		
	春の遠足	3月	学童クラブを対象にした遠足（枚方ハパーク）	140	
	交通安全教室				
	防災訓練（地震・火災・水害）				
	消火訓練				
	防犯教室				
	サクラ茶会		学童おやつを茶道クラブがお茶会でもてなす	88	
子 育 て 支 援 機 能	ICTシステムの活用	毎日			
	小学校との相互連絡	随時			
	電話等の相互連絡	〃			
	新規登録家庭ICT説明会	1月	新規登録家庭を対象にした、ICTを活用した申請の手順を説明する		
	新規入会家庭登録説明会	3月	新規入会家庭を対象にした、学童クラブのルールや提出書類を説明する		
	保護者懇談会		長期休業前に行い、提出書類等を説明する		
	個人懇談会	11月～12月	希望した家庭を対象に、個人懇談会を行う。		

<児童館事業>

	活動名	実施月	内 容	参加人数	備考
子ども育成機能	ボールクラブ	毎月	公園グラウンドでドッジボールを楽しむ。	1163	
	クラフトディ	毎月	いろいろな工作を行う。	179	
	ダンスクラブ	毎月	いろいろなダンスの練習を行う。	529	
	クッキングクラブ	毎月	いろいろなクッキングを行う。	49	
	けん玉検定	随時	希望児童に検定表を配り、職員の前で技を披露する。	120	
	つつけん検定	随時	希望児童に検定表を配り、職員の前で技を披露する。	141	
	しもとばサマーフェスタ	7月	民生児童委員共催。地域の納涼祭への導入として実施。	138	
	ハイザイアートワークショップ	8月	講師をお呼びして、廃材を使用したワークショップを行う。	82	
	だがしやさん	8・3月	学童クラブの3年生が店番となり、好きなおやつを買う。	190	
	ミニはくぶつかん	9月	講師をお呼びして、展示鑑賞・ワークショップを行う。	39	
	京都やんちゃフェスタ	10月	京都市児童館のお祭り。自由来館児童への広報・引串を行う。	27	
	ポーセリンアート	11月	講師をお呼びして、オリジナルのお皿作り体験を行う。	20	
	伝統工芸体験	1月	講師をお呼びして、伝統工芸体験を行う。	20	
	なわとびWeek!	1月	希望者を募り、外遊びの際になわとびで自由に遊んでもらう。	58	
子育て家庭支援機能	乳児クラブ「びよびよ」	毎月	0歳～1歳半までの乳児とその保護者対象の登録制クラブ。	246	
	幼児クラブ「にこにこ」	毎月	1歳以上の乳幼児とその保護者対象の登録制クラブ。	156	
	にこにこ広場	毎月	民生児童委員共催。乳幼児親子自由参加の広場。	637	
	絵本カフェ	毎月	季節の絵本・飲み物を用意し、ゆったり過ごす場所を提供する。	156	
	にこにこおたのしみ会	毎月	民生児童委員共催。七夕・クリスマス・ひなまつり時期に開催。	93	
	出前保育	10月	しもとばこども園の保育士が来館。育児相談等を行う。	18	
	しもよこっ子	11・12月	横大路児童館・下鳥羽こども園・横大路こども園共催事業。	52	
	はみがき教室	6月	歯科衛生士をお呼びし、乳幼児期の歯について話していただく。	11	
	乳幼児・小学生の交流会	7月	学童クラブの子どもたちとの交流会。	18	
	水あそび	7・8月	民生児童委員共催。プール・水あそび用おもちゃであそぶ。	64	
	絵てがみ体験	9月	講師をお呼びして、オリジナルの絵てがみ作りを行う。	17	
	絵本講座	10月	講師をお呼びして、絵本について学ぶ。	22	
	ハロウィンイベント	10月	1日目は衣装づくり。2日目は児童館内で宝探しなどを行う。	35	
	ポーセリンアート	11月	講師をお呼びして、オリジナルのお皿作り体験を行う。	20	
	交通安全教室	12月	警察署職員をお呼びして、交通ルールについて学ぶ。	12	
	びよにこ合同クリスマス会	12月	登録制2クラブ合同のクリスマス会を行う。	16	
	救命講習	2月	消防署職員をお呼びして、乳幼児家庭向けの救命講習を行う。	23	
			#REF!		
			#REF!		
			#REF!		
			#REF!		
地域福祉促進機能	児童館だより発行	毎月			
	にこにこだより発行	毎月			
	おたより地域配布	毎月			

＜児童館事業＞

	活動名	実施月	内 容	参加人数	備考
子ども育成機能	5時以降利用者	毎月	中高生世代を中心に5時から遊戯室をメインに卓球、勉強等自由に過ごす。	18	
	クラブデー	隔月	自由参加の工作遊び	31	
	空手体験会	年2回	地域の空手道場の方を招いて、初めての空手体験会	31	
	乳幼児クラブと高校生コラボ	11月	近隣の同志社高校と乳幼児クラブのふれあい	310	
	将棋大会	1月	館内将棋大会	160	
	体操教室	12月	地域の体操教室の講師を招いての体操教室	9	
	クリスマス会	12月	クリスマス会ステージ発表、高学年が司会をする	147	
	節分の集い	2月	たなばたに因んだお話を聞き、豆まきを行う	147	
	やんちゃフェスタ	10月	梅小路公園で行われる全市のこどものおまつりに参加する	15	
子育て家庭支援機能	乳児クラブ「こがも」(火)	毎月	火曜日、月3回。4ヶ月～1歳未満のお子さんと保護者	586	
	幼児クラブ「そよかぜ」(木)	毎月	木曜日、月3回。1歳～2歳のお子さんと保護者	372	
	乳児クラブ「こぐまクラブ」(金)	毎月	金曜日、月3回。2歳～就園前のお子さんと保護者	408	
	子育てサロン	月1回水	岩倉南学区民生児童委員さん主催の子育て支援活動	311	
	身体測定		身長計・体重計があり、定期的に計れるようになっている	88	
	左京北部親子サンサン広場	12月	明徳・村松・市原野と各学区民生委員・保育園・社協・はぐくみ室合同開催	167	
	おもちゃ病院	奇数月	SKYおもちゃ病院によるおもちゃの病院	50	
	ランチタイム	毎日	家庭から昼食を持ち寄り、乳幼児親子がランチをする		
	乳幼児親子対象ふれあいト	12月		27	
	遊びの広場	毎月	自由参加の広場	410	
	マインドフルネス	隔月	心と体をリフレッシュするプログラムを実施	10	
	ママヨガ	隔月	自律神経や骨盤等を調整し、心と体をリフレッシュする	17	
	乳幼児クラブと高校生コラボ	11月	近隣の同志社高校と乳幼児クラブのふれあい	310	
	土曜日ヨガ	隔月	ママヨガの土曜日バージョン	17	
地域福祉促進機能	子育て情報ボード・ライブラリー	随時			
	子育て相談	随意		20	
	ゆずります・ゆずってください	随時			
					児童館ニュース発行 各種お便り地域配布
	児童館まつり	11月	地域に向けたまつり。民生さんや各諸団体との協力あり	432	

<学童クラブ事業>

	取組・行事名（クラス名）	実施日	内 容	参加人数	備考
生活援助機能	安全指導	随時	集団滞りに付き添っての滞り方指導や帰宅ルートの安全点検。		
	生活班・帰宅班形成	毎日	生活班4グループ、帰宅班6グループ。		
	当番活動	〃	おやつ準備、いただきます・ごちそうさまの号令。		
	おやつ提供	〃			
	防災・避難訓練	月1回		721	
	消火訓練	月1回		765	
	ロッカーそうじ	月1回	各自のロッカーを整理・清掃する。	528	
	大そうじ	12月・3月	館内の床や階段、机などを清掃する。	106	
	ノー弁当デー		長期休暇中の家庭支援として、児童館で昼食を用意する。	602	年間8回
子ども育成機能	お誕生日会	毎月	毎月、みんなで誕生月の友だちを祝う。	806	
	みんなあそび	毎月	出席学童全員が参加し、みんなであそびを行う。	446	
	3年生会議	随時	3年生が行事等について話し合う。	141	
	高学年会議	随時	4年生以上が行事等について話し合う。	107	
	工作クラブ	毎月	いろいろな工作を行う。	184	
	2館交流会	6月	住吉児童館の子どもたちとの交流会を行う。	13	
	納涼祭出店手伝い	7月	地域の納涼祭に児童館で出店し、そのお手伝いをする。	4	
	乳幼児・小学生の交流会	7月	乳幼児親子との交流会。	18	
	将棋教室	7月	講師をお呼びして、将棋教室を希望者向けに行う。	19	
	少年補導デイキャンプ	7月	土曜保育児童を引率し、地域行事に参加する。	12	
	将棋大会	8月	希望者を募集し、本将棋やどうぶつ将棋の大会を行う。	19	
	マンカラ教室	8月	マンカラ大会に向けて、マンカラ教室を希望者向けに行う。	27	
	マンカラ大会	8月	希望者を募集し、マンカラの大会を行う。	41	
	こども園カミングデー	9月	土曜保育児童を引率し、こども園の行事に参加する。	17	
	親子イベント取組	11月	親子イベントの発表に向けて、希望児童が取組を行う。	62	
	四館交流会	11月	法人4館の子どもたちの交流会を行う。	65	
	クリスマス会	12月	ダンスクラブ発表・クリスマスビンゴ大会を行う。	76	
	もちつき大会	1月	土曜保育児童を引率し、地域行事に参加する。	13	
	横大路児童館交流会	2月	横大路児童館の子どもたちとの交流会を行う。	12	
	高学年イベント	3月	高学年会議で案を出し、高学年が楽しめるイベントを行う。	15	
	カルタ大会	3月	希望者を募集し、伏見へるカルタの大会を行う。	13	
	館外活動	3月	1・2年生「映画鑑賞」、3年生以上「ボーリング+鉄道博物館」へ引率を行う。	76	
子育て支援機能	ICTシステムの活用				
	学童だよりの配布	毎月			
	小学校・関係機関との連絡	随時			
	親子イベント	11月	学童クラブ児童の発表やゲームを親子で楽しむ。	103	
	新入会保護者説明会	3月	新規学童クラブ登録家庭に向けた、保護者説明会を行う。	29	
	個人面談	7・2月	面談期間を設けて、希望家庭との面談を行う。		

<学童クラブ事業>

	取組・行事名（クラス名）	実施日	内 容	参加人数	備考
生活援助機能	帰宅指導	随時			
	生活班・帰宅班形成	毎日			
	当番活動	〃			
	おやつ提供	〃			
	ロッカー掃除	月1回		91	
	館内掃除	学校休業日		308	
	お弁当いらないデー		学校休業日の昼食を館から用意し、みんなで食す	655	
子ども育成機能	お誕生日会	月1回	毎月、みんなで誕生日の友だちを祝う	2093	
	新入生オリエンテーション	4月	1年生に児童館の紹介をする	74	
	こいのぼり制作	4月	希望者にこいのぼり制作を行う	255	
	新入生歓迎会	4月	新しく入会した児童をみんなでお祝いする	216	
	端午の節句	5月	端午の節句に関する知識やクイズを行う	192	
	端午の節句お楽しみおやつ	5月	かしわもちを食べる	194	
	シャボン玉遊び	6月	館内のテラスでシャボン玉遊びを楽しむ	111	
	七夕製作	6月	七夕に因んだ話を聞き、短冊づくりを行う	338	
	新入生オリエンテーション	4月	1年生に児童館の紹介をする	74	
	七夕の集い	7月	七夕に因んだクイズをする	180	
	夜の児童館	7月	高学年を中心に考えた企画・ビンゴ大会やゲームを楽しむ	196	
	乳幼児クラブとの交流	7月	乳幼児クラブと学童クラブ児童との交流	162	
	ミニ映画鑑賞会	8月	児童館遊戯室での映画鑑賞会	623	
	ハロウィンタイム	10月	ハロウィンに因んだ遊びを楽しむ	170	
	みんなで遊ぼうウィーク	11月	みんな遊びを運動場で楽しむ	92	
	しめ縄づくり	12月	お正月伝承文化にならい、しめ縄づくりを体験する	15	
	6年生卒業パーティー	2月	6年生を招いての卒業パーティー	20	
	遠足	3月	春休みに貸し切りバスで遠足を行う	132	
	防災訓練(地震・火災・水害)	毎月	地震、火事、水害を想定した避難訓練をおこなう	2093	
	消火訓練	毎月	訓練用の消火器を使った消火訓練	2063	
				92	
	4館交流		葵、岩倉南、下鳥羽、住吉の交流	9	
子育て支援機能	ICTシステムの活用	毎日			
	小学校との相互連絡	随時			
	電話等の相互連絡	〃			
	新規申請者説明会	1月、3月	1月には、登録のシステムの説明会、3月には新規登録者対象に学童クラブの説明会を行う	56	

年間利用状況報告書

令和（ 7 ）年度

京都市住吉児童館

1 児童館事業

	乳幼児	小1～3年	小4～6年	中高生	大人	ボランティア			合 計	開館日数	1日平均利用者数
		自由来館	自由来館			中高生	大学生	大人			
4月	44	186	323	204	62	0	0	0	819	25	33
5月	79	128	240	70	90	0	6	8	621	24	26
6月	68	110	206	109	85	0	0	2	580	25	24
7月	64	130	331	112	81	0	2	0	720	26	28
8月	70	386	441	140	190	1	28	95	1351	25	55
9月	79	177	312	59	91	1	0	10	729	24	31
10月	80	172	160	36	83	1	0	14	546	26	21
11月	154	331	231	86	191	1	0	27	1021	23	45
12月	69	299	255	110	115	1	4	15	868	24	37
1月	83	244	153	91	89	0	0	0	660	23	29
2月	63	260	171	103	78	3	0	1	679	22	31
3月	40	196	169	113	62	4	0	14	598	25	24
合計	893	2619	2992	1233	1217	12	40	186	9,192	292	32

2 学童クラブ事業

(1) 館所全体の登録児童数・出席児童数

	月初登録児童数	延べ出席児童数							実施日数	1日平均出席児童数	月～金曜日平均	土曜日平均
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計				
4月	126	631	446	568	250	169	0	2064	25	83	96	13
5月	126	599	434	532	231	118	0	1914	24	82	94	13
6月	126	618	446	507	235	137	0	1943	25	78	91	9
7月	127	656	431	518	213	128	0	1946	26	75	87	12
8月	127	482	349	402	170	124	0	1527	25	61	75	10
9月	126	593	420	458	214	111	0	1796	24	75	75	12
10月	126	624	441	477	231	109	0	1882	26	72	73	11
11月	126	426	373	373	186	90	0	1448	23	63	78	10
12月	126	596	399	396	195	100	0	1686	24	70	82	13
1月	126	496	385	279	183	85	0	1428	23	62	74	9
2月	125	388	305	263	127	87	0	1170	22	53	64	7
3月	124	602	444	421	192	114	0	1773	25	71	84	5
合計		6711	4873	5194	2427	1372	0	20577	292	70		

年間総利用者数

児童館事業 (A) + 学童クラブ事業 (C)

A+C

29,769 人

年間利用状況報告書

令和（ 7 ）年度

京都市葵児童館

1 児童館事業

	乳幼児	小1～3年	小4～6年	中高生	大人	ボランティア			合 計	開館日数	1日平均利用者数
		自由来館	自由来館			中高生	大学生	大人			
4月	58	39	33	75	47	0	0	25	277	25	12
5月	97	31	34	25	96	0	1	29	313	24	14
6月	119	82	65	26	135	1	0	10	418	25	17
7月	92	61	58	51	106	2	1	39	410	26	16
8月	95	163	169	17	274	6	0	23	747	26	29
9月	146	35	48	19	138	0	1	23	410	24	18
10月	121	47	61	34	125	0	0	31	419	26	17
11月	130	57	38	19	125	0	0	26	395	22	18
12月	131	65	59	30	115	0	0	33	432	24	18
1月	132	50	60	74	121	2	0	29	468	23	21
2月	146	73	58	26	147	0	0	29	479	22	22
3月	117	66	71	67	129	7	0	29	486	23	22
合計	1384	749	753	463	1558	18	3	326	5,254	290	19

2 学童クラブ事業

(1) 館所全体の登録児童数・出席児童数

	月初登録児童数	延べ出席児童数							実施日数	1日平均出席児童数	月～金曜日平均	土曜日平均
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計				
4月	181	858	597	477	236	188	52	2408	25	96	101	11
5月	181	738	472	349	140	139	24	1862	24	78	97	12
6月	181	730	482	323	146	135	27	1843	25	74	84	12
7月	181	769	557	386	212	169	39	2132	26	82	82	13
8月	172	613	540	345	158	145	44	1846	26	71	105	8
9月	168	619	444	294	118	134	8	1617	24	67	77	12
10月	166	728	454	304	138	144	3	1771	26	68	80	16
11月	165	571	343	212	107	119	0	1352	23	59	76	10
12月	165	618	433	258	127	134	0	1570	24	65	77	10
1月	162	567	387	256	102	119	4	1435	24	60	70	12
2月	160	519	315	198	71	104	0	1207	22	55	64	10
3月	162	693	445	276	122	138	3	1677	25	67	71	20
合計		8023	5469	3678	1677	1668	204	20719	294	70		

※2クラス以上の館所については、クラスごとの登録児童数・出席児童数を様式6-2に記入して下さい。

年間総利用者数

児童館事業(A)+学童クラブ事業(C)

A+C

25,973 人

年間利用状況報告書

令和（ 7 ）年度

（ 下鳥羽 ）児童館

1 児童館事業

	乳幼児	小1～3年 自由来館	小4～6年 自由来館	中高生	大人	ボランティア			合 計	開館日数	1日平均利用者数
						中高生	大学生	大人			
4月	29	139	232	28	27	0	0	3	458	26	18
5月	43	102	97	15	45	0	0	10	312	24	13
6月	46	115	98	7	48	0	0	7	321	25	13
7月	84	136	111	13	131	0	0	10	485	26	19
8月	18	47	97	8	34	5	0	4	213	25	9
9月	57	96	133	8	54	0	0	8	356	24	15
10月	91	143	71	7	83	0	0	10	405	26	16
11月	76	129	40	10	71	0	0	10	336	23	15
12月	62	154	40	9	61	0	0	10	336	24	14
1月	65	170	55	8	61	0	0	7	366	23	16
2月	89	190	98	17	86	0	0	7	487	22	22
3月	68	142	92	31	77	0	0	4	414	25	17
合計	728	1563	1164	161	778	5	0	90	4489	292	15

2 学童クラブ事業

(1) 館所全体の登録児童数・出席児童数

	月初登録 児童数	延べ出席児童数							実施日数	1日平均 出席児童数	月～金曜日平均	土曜日平均
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計				
4月	98	680	448	275	250	56	15	1724	25	69	78	24
5月	100	736	414	245	223	52	11	1681	24	70	79	27
6月	100	738	425	248	218	55	11	1695	25	68	77	22
7月	100	747	448	258	231	55	14	1753	26	67	75	25
8月	100	592	345	224	165	54	8	1388	25	56	64	21
9月	101	698	402	213	202	45	10	1570	24	65	74	25
10月	101	788	400	249	181	47	11	1676	26	64	72	23
11月	101	623	296	201	151	33	7	1311	23	57	65	28
12月	101	722	377	244	165	47	12	1557	24	65	72	28
1月	101	613	349	215	169	44	12	1402	23	61	68	27
2月	101	613	292	211	138	44	7	1305	22	59	66	30
3月	101	730	359	255	177	53	12	1586	25	63	72	27
合 計		8280	4555	2838	2260	585	130	18648	292	64		

※2クラス以上の館所については、クラスごとの登録児童数・出席児童数を様式6-2に記入して下さい。

年間総利用者数

児童館事業(A)+学童クラブ事業(C)

A+C

23137

人

年間利用状況報告書

令和（ 7 ）年度

（ 京都市岩倉南 ）児童館・学童保育所

1 児童館事業

	乳幼児	小1～3年	小4～6年	中高生	大人	ボランティア			合 計	開館日数	1日平均利用者数
		自由来館	自由来館			中高生	大学生	大人			
4月	57	13	6	0	58	2	0	6	142	25	6
5月	96	0	3	1	90	0	0	5	195	24	8
6月	97	0	2	1	86	0	0	0	186	25	7
7月	84	54	22	1	76	0	0	9	246	26	9
8月	14	19	8	0	15	0	0	2	58	25	2
9月	104	6	6	1	96	0	0	6	219	24	9
10月	138	1	6	1	120	0	0	9	275	26	11
11月	160	4	9	320	154	0	0	36	682	23	30
12月	105	12	2	0	113	0	0	13	245	24	10
1月	91	7	7	0	81	0	0	4	190	23	8
2月	77	5	15	1	84	4	0	13	199	22	9
3月	96	12	13	4	120	4	0	12	261	25	10
合 計	1119	133	99	330	1093	10	0	114	A 2714 人	B 292 日	A÷B 9人

2 学童クラブ事業

(1) 館所全体の登録児童数・出席児童数

	月初登録 児童数	延べ出席児童数							実施日数	1 日 平 均 出席児童数	月～金曜日平均	土曜日平均
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計				
4月	255	1229	1064	785	677	183	77	4015	25	161	149	9
5月	256	1305	1032	759	533	171	52	3852	24	161	149	9
6月	260	1377	793	1047	557	180	48	4002	25	151	162	10
7月	260	1350	1046	806	635	181	91	4109	24	171	149	9
8月	260	916	711	513	465	119	68	2792	25	112	141	6
9月	246	1282	961	691	474	179	0	3587	24	149	149	9
10月	245	1353	1003	739	525	182	0	3802	26	146	172	7
11月	240	1109	824	625	423	157	0	3138	23	136	172	10
12月	234	1058	635	458	125	125	0	2401	24	100	156	7
1月	231	1004	707	585	436	107	0	2839	23	123	149	9
2月	229	1016	704	555	370	119	0	2764	22	126	151	10
3月	228	1207	860	637	427	130	0	3261	25	126	154	5
合 計		14206	10340	8200	5647	1833	336	40562	D 292 日	C÷D 123人		

※2クラス以上の館所については、クラスごとの登録児童数・出席児童数を様式6-2に記入して下さい。

年間総利用者数

児童館事業 (A)+学童クラブ事業 (C)

A+C

43276

